

## 学生の確保の見通し等を記した書類（資料）

### 目 次

資料 1：北海道における過疎化の状況	2
資料 2：積雪寒冷期におけるスポーツ活動の狭小化	3
資料 3：北海道の子どもの体力と全国との比較	5
資料 4：北海道の肥満傾向児出現率の推移	7
資料 5：北海道における肥満者の割合	8
資料 6：18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向	9
資料 7：大学進学者数等の将来推計	10
資料 8：北海道における大学進学率実績・推計値（全国・北海道）	11
資料 9：北海道における進学者数・進学率（現役）の推移	12
資料 10：地元残留率の推移	13
資料 11：新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）	15
資料 12：地域別の入学定員充足率	16
資料 13：既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間） （別紙 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5）	17
資料 14：既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績 （別紙 3）	22
資料 15：本学における教員採用候補者選考検査結果	23
資料 16：「北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称、 設置届出予定）に関するアンケート」【高校生対象】 調査結果報告書	24
資料 17：「北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称、 設置届出予定）に関するアンケート」【高校生対象】 調査用紙	34
資料 18：北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称）概要	42
資料 19：生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称）リーフレット	48
資料 20：採用意向調査 北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ 学科（仮称）に関するアンケート【企業対象】 結果報告書	51
資料 21：採用意向調査 北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ 学科（仮称）に関するアンケート【企業対象】 調査用紙	58

資料 1：北海道における過疎化の状況

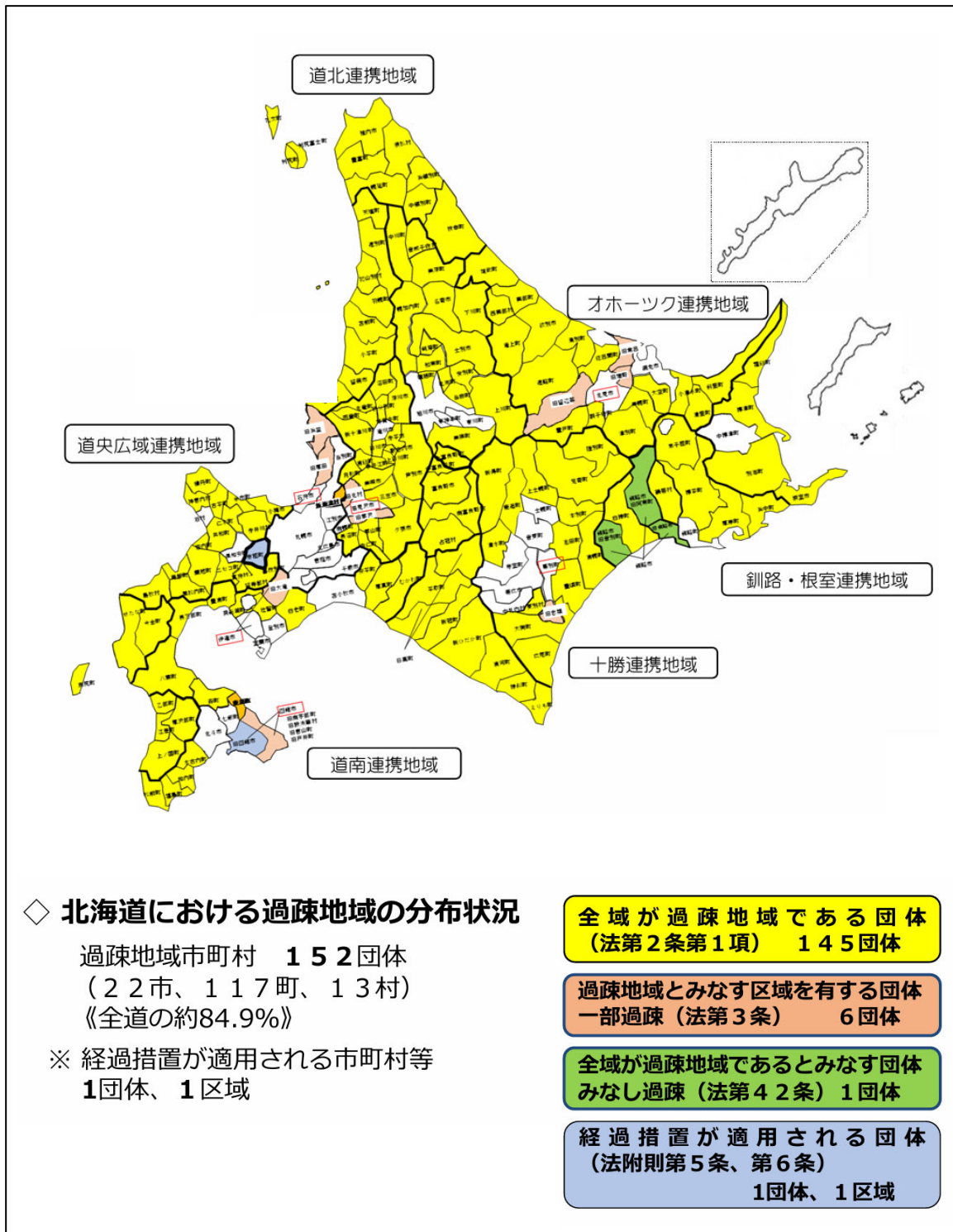


図 1 北海道過疎地域持続的発展方針の概要

(北海道地域創生局地域政策課、

[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/1/0/8/8/7/8/4/1/\\_/01%20北海道%20方針\(概要版\)R4年度変更.pdf](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/1/0/8/8/7/8/4/1/_/01%20北海道%20方針(概要版)R4年度変更.pdf))

資料2：積雪寒冷期におけるスポーツ活動の狭小化

男 子 (n=8)	非降雪期		降雪期	
	1日目 (歩)	2日目 (歩)	1日目 (歩)	2日目 (歩)
平均	6,874	8,340	5,661	2,940 <sup>b</sup>
標準偏差	2,035	2,197	1,719	1,212

女 子 (n=8)	非降雪期		降雪期	
	1日目 (歩)	2日目 (歩)	1日目 (歩)	2日目 (歩)
平均	6,518	6,068	4,763 <sup>a</sup>	1,974 <sup>b</sup>
標準偏差	1,377	1,777	1,038	1,021

1日目における非降雪期と降雪期との有意差 a : p<0.05

2日目における非降雪期と降雪期との有意差 b : p<0.01

図1 小学生男女児童の非降雪期と降雪期における活動量の比較

(志手典之：北海道の小学校児童の降雪期における体力の低下，

須田 力編集：『北方圏住民の生活とスポーツ』、共同文化社、1998、pp. 5-16.)

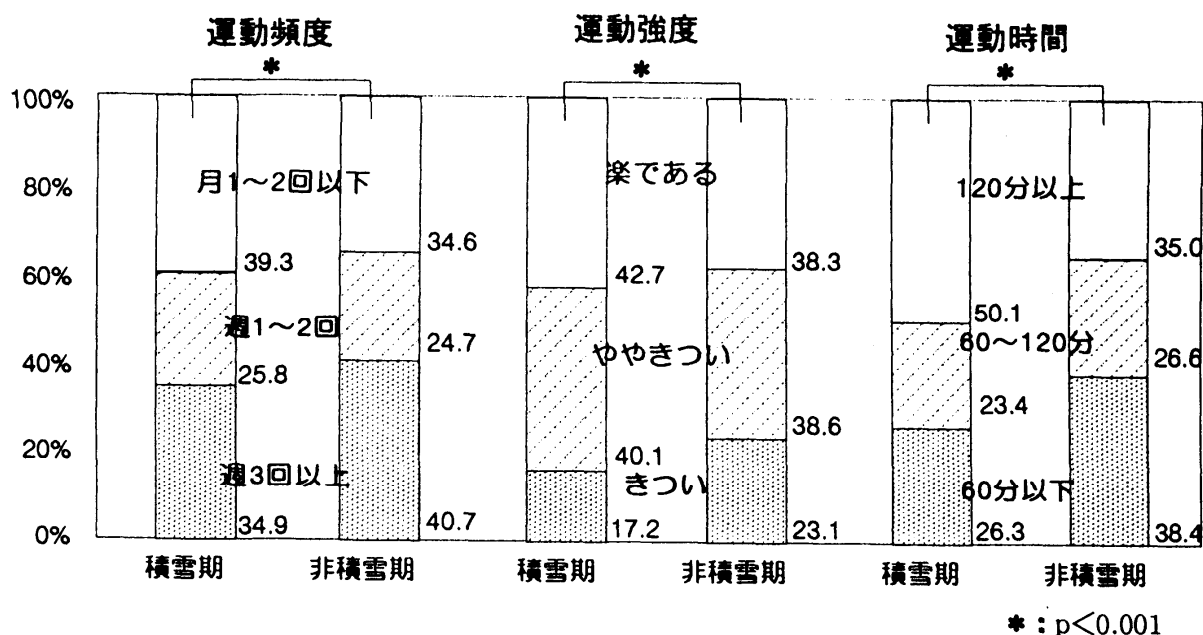


図2 高校生・高専生の季節別運動頻度・強度・時間

(浦上大輔, 浦田清, 布上恭子, 渡会雅明, 浜野貢, 須田力, 中川功哉：積雪地の高校生・高専生の生活と身体活動 -積雪期と非積雪期における生活と身体活動の比較-, 発育発達研究, 25:20-28, 1997)

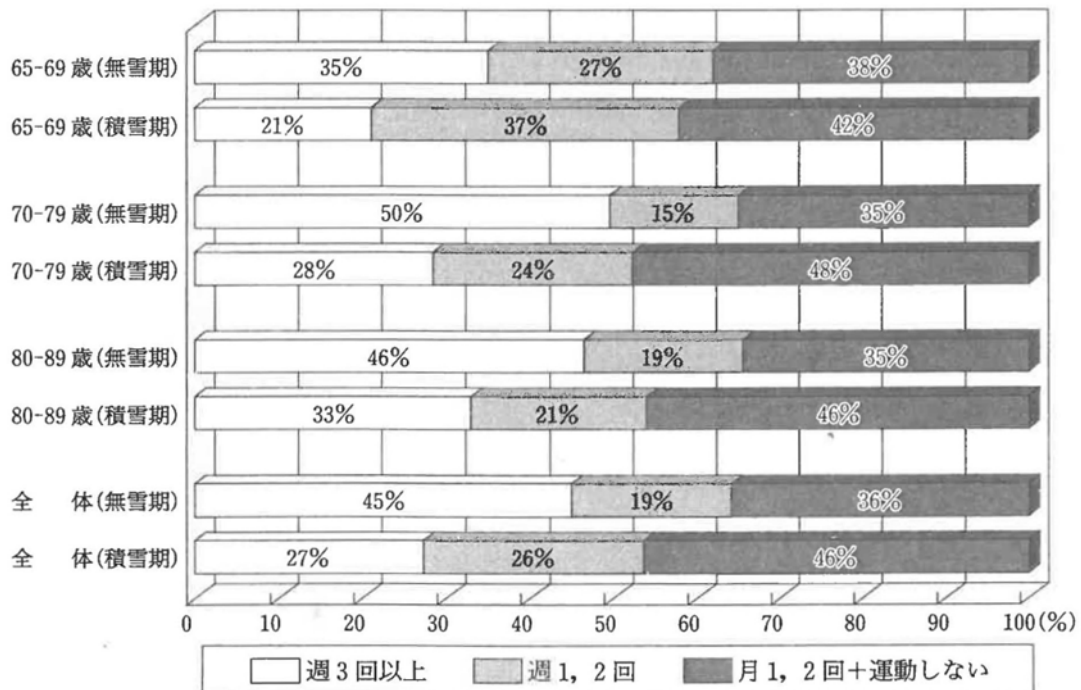
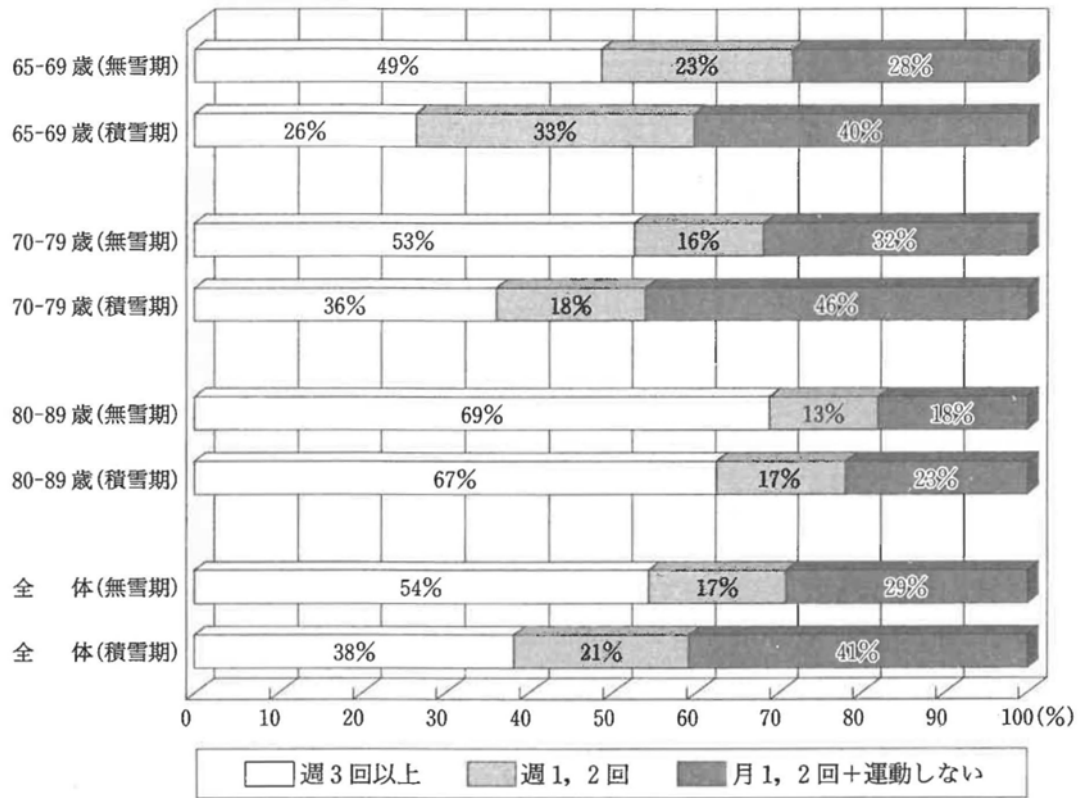
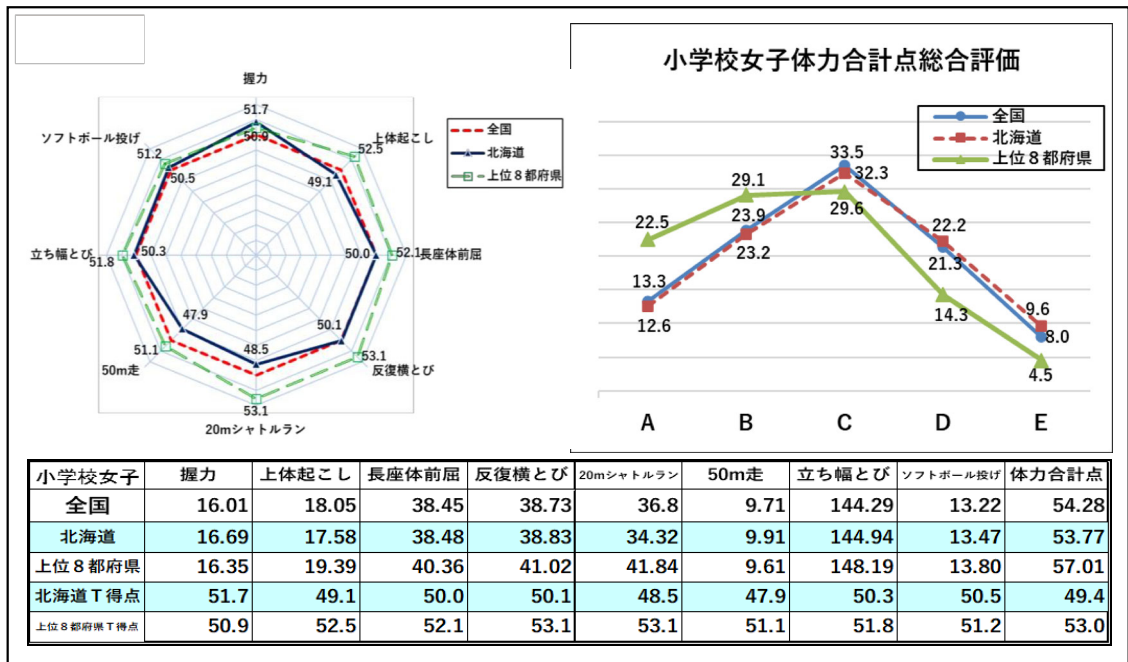
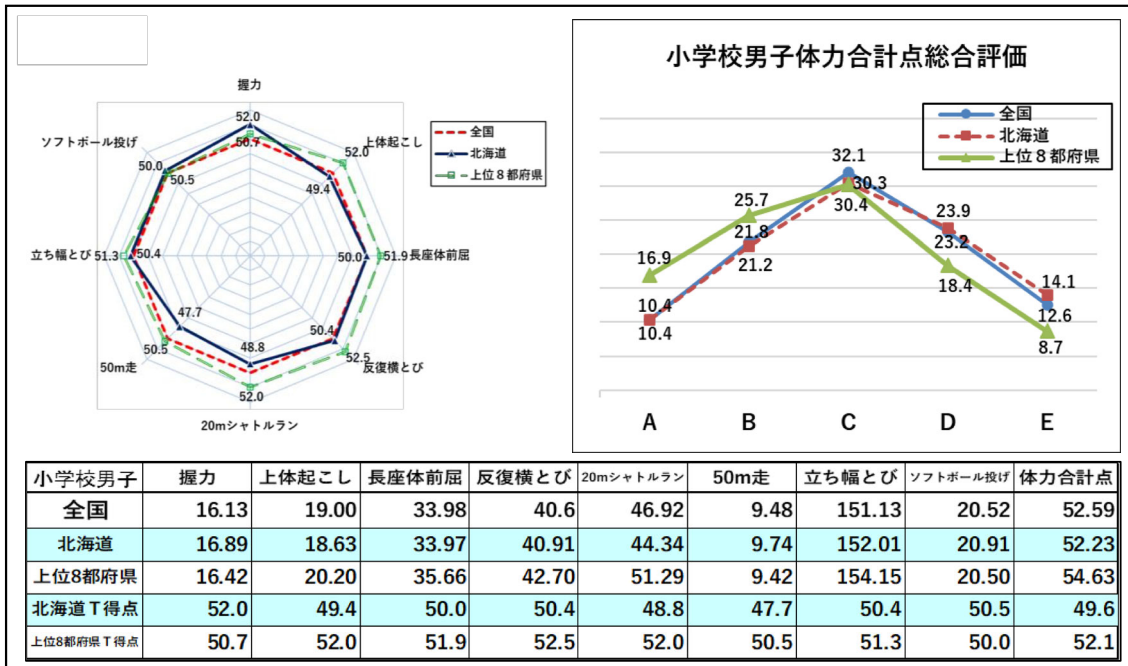


図3 北海道各地の高齢者の無雪期・積雪期別運動実施頻度

上:男性 下:女性

(須田力:積雪期住民の冬季の運動不足と体力低下、須田力編:『雪国の生活と身体活動』、北海道大学出版会、2006、pp.23-36)

資料3：北海道の子どもの体力と全国との比較



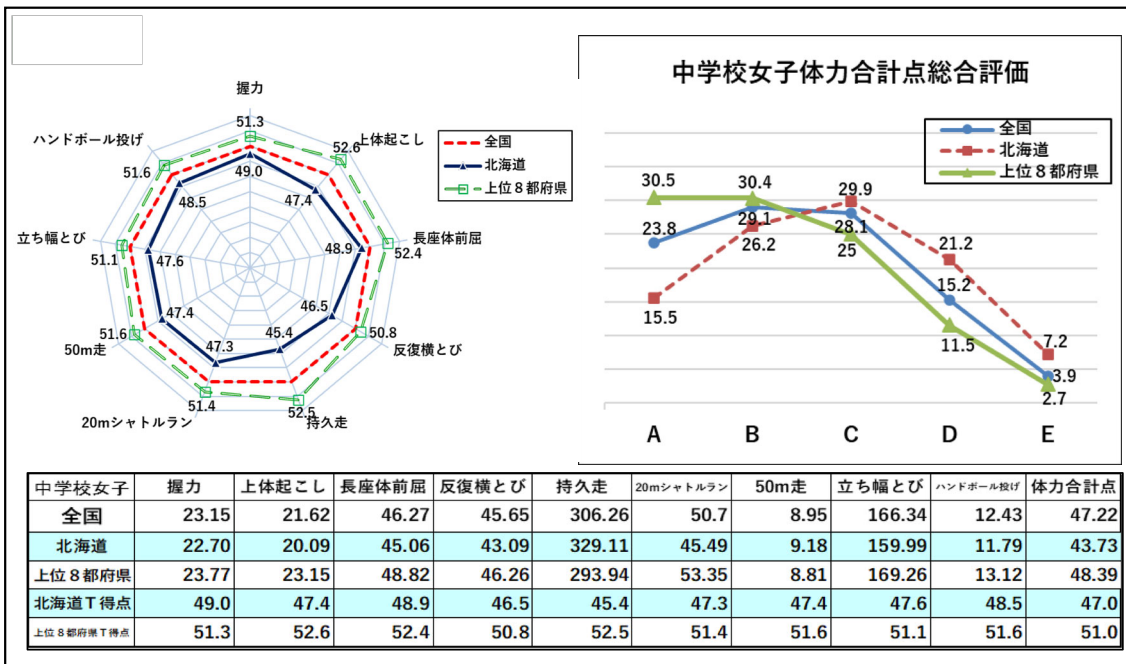
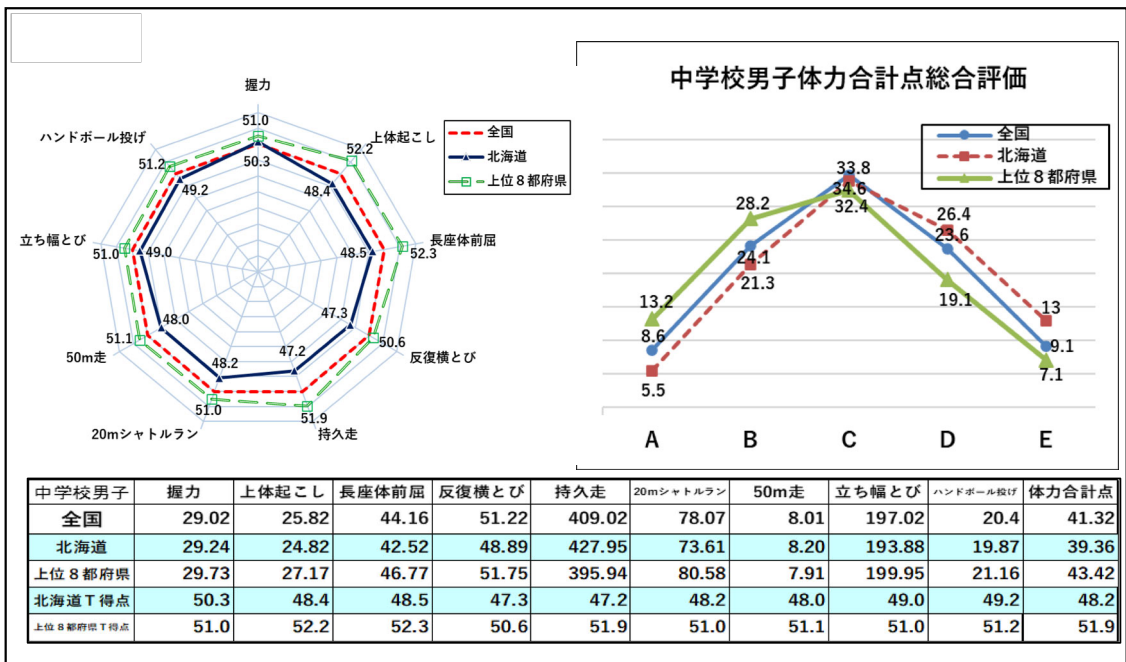
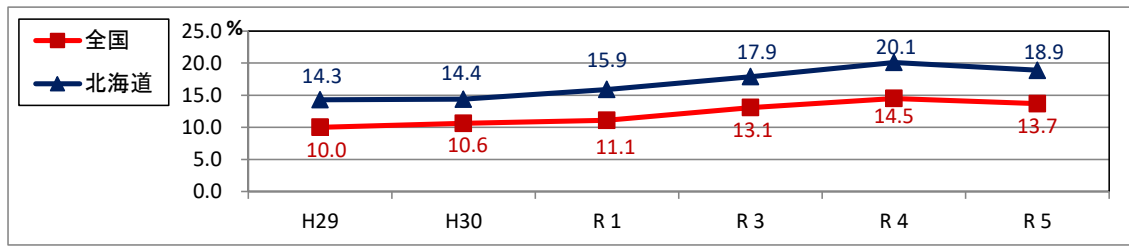


図1 令和5年度体力テスト結果（全国と北海道の比較）

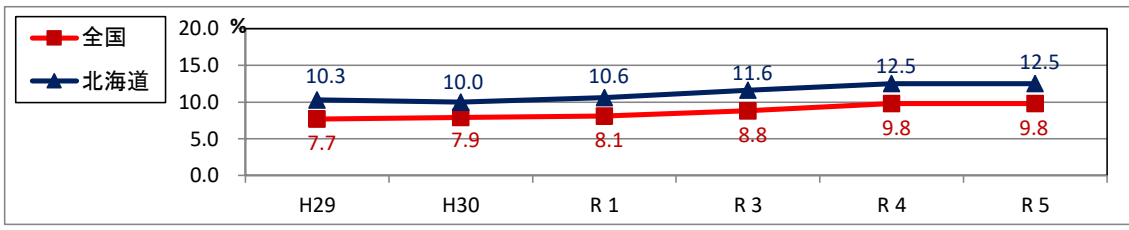
（「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書」北海道教育委員会  
[http://www.ictkensyu.hokkaido-c.ed.jp/siryou/tairyokukekka/R5/00-2\\_ikkatsuban.pdf](http://www.ictkensyu.hokkaido-c.ed.jp/siryou/tairyokukekka/R5/00-2_ikkatsuban.pdf)）

資料 4：北海道の肥満傾向児出現率の推移

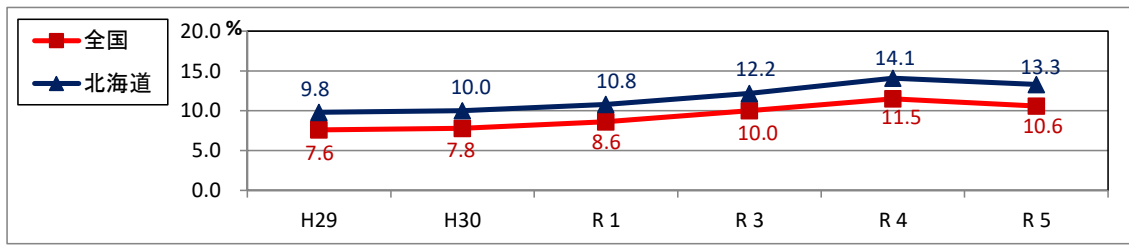
小学校男子



小学校女子



中学校男子



中学校女子

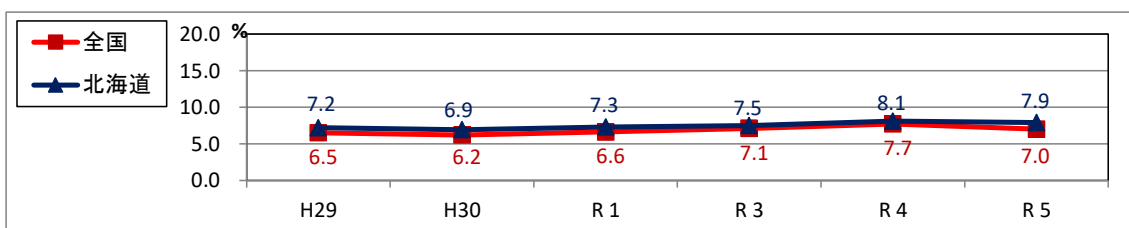


図 1 北海道の肥満傾向児出現率の推移（全国との比較）

（「令和 5 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書」北海道教育委員会  
[http://www.ictkensyu.hokkaido-c.ed.jp/siryou/tairyokukekka/R5/00-2\\_ikkatsuban.pdf](http://www.ictkensyu.hokkaido-c.ed.jp/siryou/tairyokukekka/R5/00-2_ikkatsuban.pdf)）

資料5：北海道における肥満者の割合

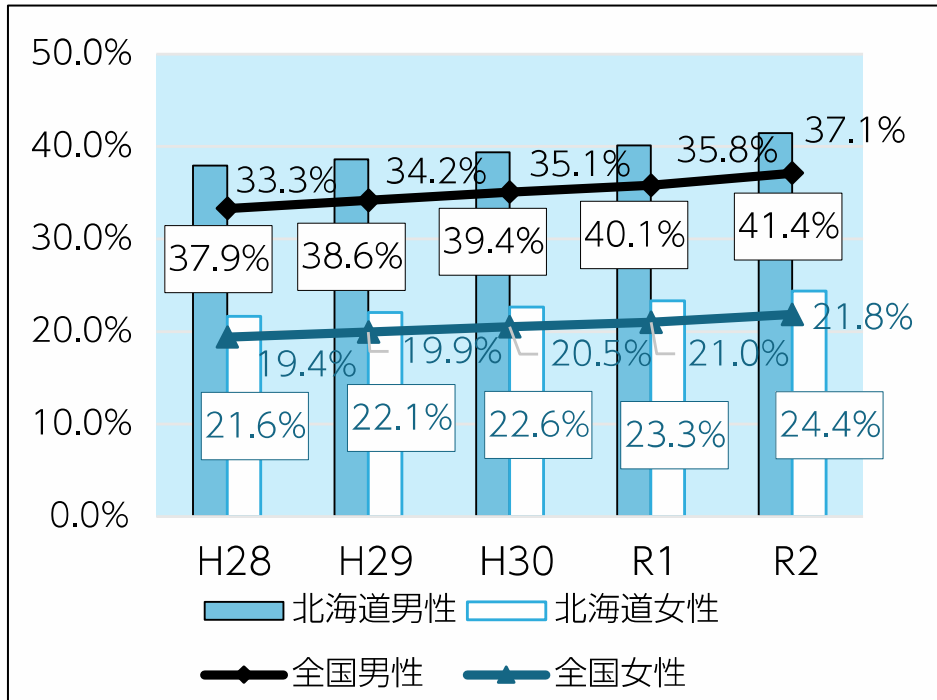


図1 北海道における肥満者の割合 (BMI 25.0 以上)

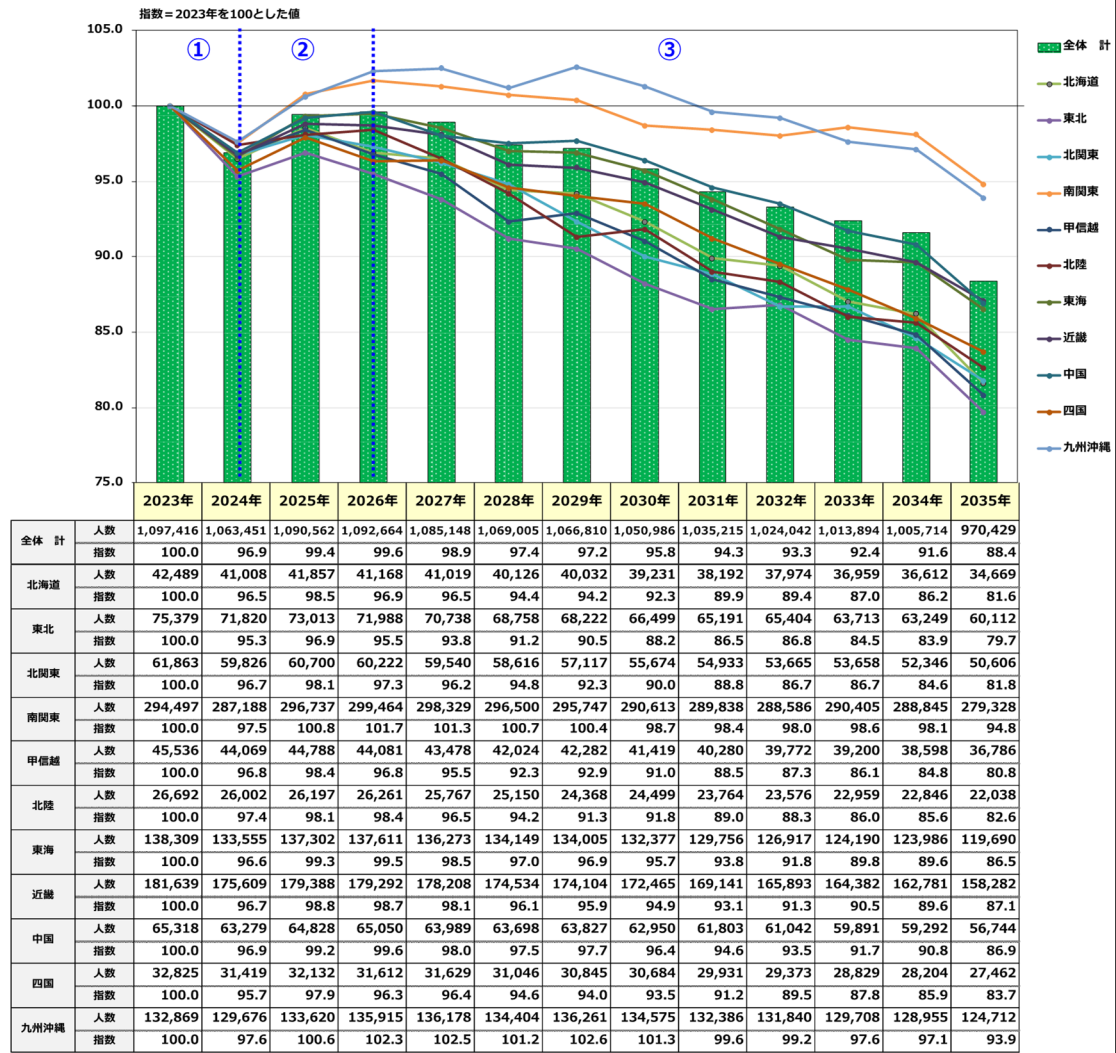
(北海道健康増進計画「すこやか北海道 21」【計画期間：令和6年4月～令和18年3月】  
[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/1/0/3/0/7/9/1/6/\\_/03%20第2章%20道民の健康と生活習慣の現状.pdf](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/1/0/3/0/7/9/1/6/_/03%20第2章%20道民の健康と生活習慣の現状.pdf))

資料6：18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向

■ 減少率が高いのは東北（2023年比79.7%）、減少数が大きいのは近畿（23,357人減）

- ・ 減少率が高いのは、1位 東北（2023年比79.7%）、2位 甲信越（80.8%）、3位 北海道（81.6%）。
- ・ 減少数が大きいのは、1位 近畿（23,357人減）、2位 東海（18,619人減）、3位 東北（15,267人減）。
- ・ 減少率が低いのは、1位 南関東（94.8%）、2位 九州沖縄（93.9%）、3位 近畿（87.1%）。
- ・ エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。
  - ① 2023～2024年：全国では約3.4万人減少、エリアも含め減少傾向になる時期
  - ② 2024～2026年：全国で約3万人増加、人口が回復し、横ばいが続く時期
  - ③ 2026～2035年：回復後さらに減少する時期

注) 減少率=2035年人数÷2023年人数で算出。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

図1 18歳人口予測

（「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 全国版」  
リクルート進学総研マーケットリポート 2023, Vol. 118, 2024年2月号

[https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023\\_souken\\_report/2023\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023_souken_report/2023_souken_report.pdf)

資料7：大学進学者数等の将来推計

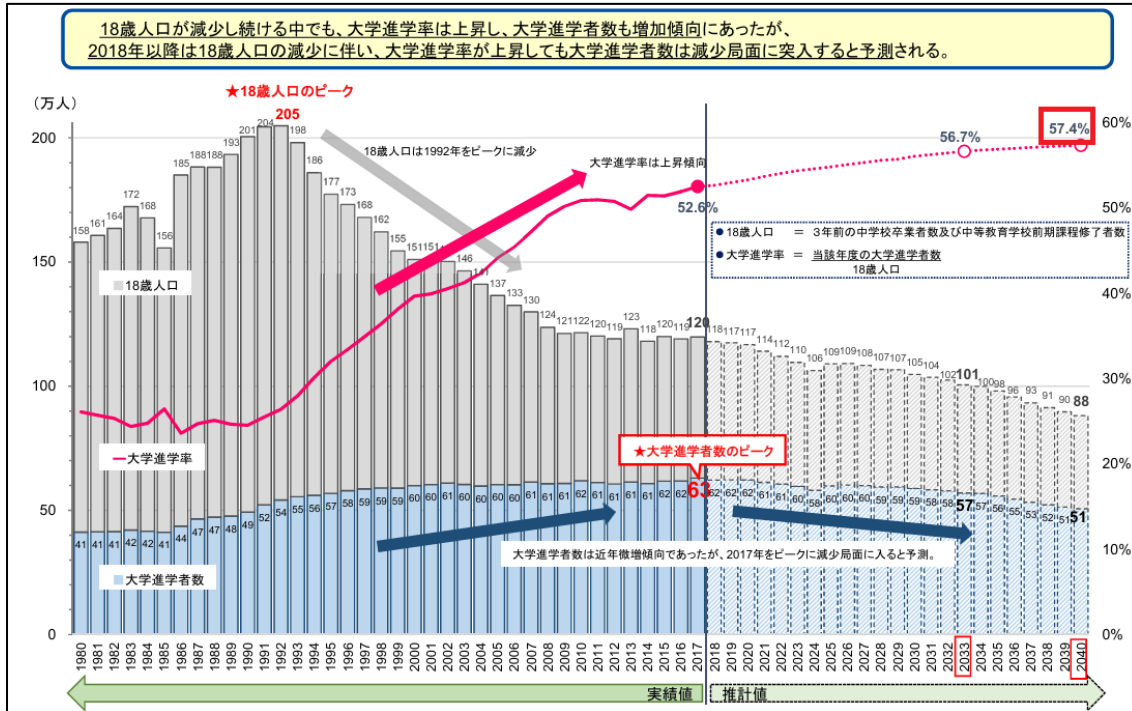


図1 大学進学率推計

(2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)(中教審第211号)

「18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 関係資料」

[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2018/12/17/1411360\\_10\\_5\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2018/12/17/1411360_10_5_1.pdf)

資料 8 : 北海道における大学進学率実績・推計値 (全国・北海道)

		2010年	2011年	2012年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
全国	合計	50.9%	51.0%	50.8%	56.1%	56.3%	56.5%	56.7%	56.8%	56.9%
	男	56.4%	56.0%	55.6%	57.4%	57.5%	57.6%	57.8%	57.9%	58.0%
	女	45.2%	45.8%	45.8%	54.8%	55.0%	55.3%	55.5%	55.7%	55.8%
北海道	合計	39.1%	39.4%	39.6%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%
	男	47.4%	46.7%	46.0%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%
	女	30.5%	31.9%	32.9%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%	54.4%

図 1 大学進学率実績 (2010 年～2012 年)・推計値(2030 年～2035 年)

(第 13 回中央教育審議会大学分科会将来構想部会 (第 9 期～) (平成 30 年 2 月)

「大学への進学者数の将来推計について」から抜粋作成

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/042/siryo/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2018/03/08/1401754\\_03.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/042/siryo/__icsFiles/afieldfile/2018/03/08/1401754_03.pdf)

資料9：北海道における進学者数・進学率（現役）の推移

■ 10年で大学進学率が12.6ポイント上昇、進学者数は2,123人増加  
 短期大学・専門学校の進学率はそれぞれ2.2ポイント、0.8ポイント低下し、  
 進学者数もそれぞれ1,146人、1,981人減少

**進学者数**

- ・ 大学は、2014年15,480人→2023年17,603人（2,123人増加）と、13.7%増加。
- ・ 短期大学は、2014年2,333人→2023年1,187人（1,146人減少）と、49.1%減少。
- ・ 専門学校は、2014年10,385人→2023年8,404人（1,981人減少）と、19.1%減少。

**進学率（現役）**

- ・ 大学は、2014年35.5%→2023年48.1%（12.6ポイント上昇）。
- ・ 短期大学は、2014年5.4%→2023年3.2%（2.2ポイント低下）。
- ・ 専門学校は、2014年23.8%→2023年23.0%（0.8ポイント低下）。

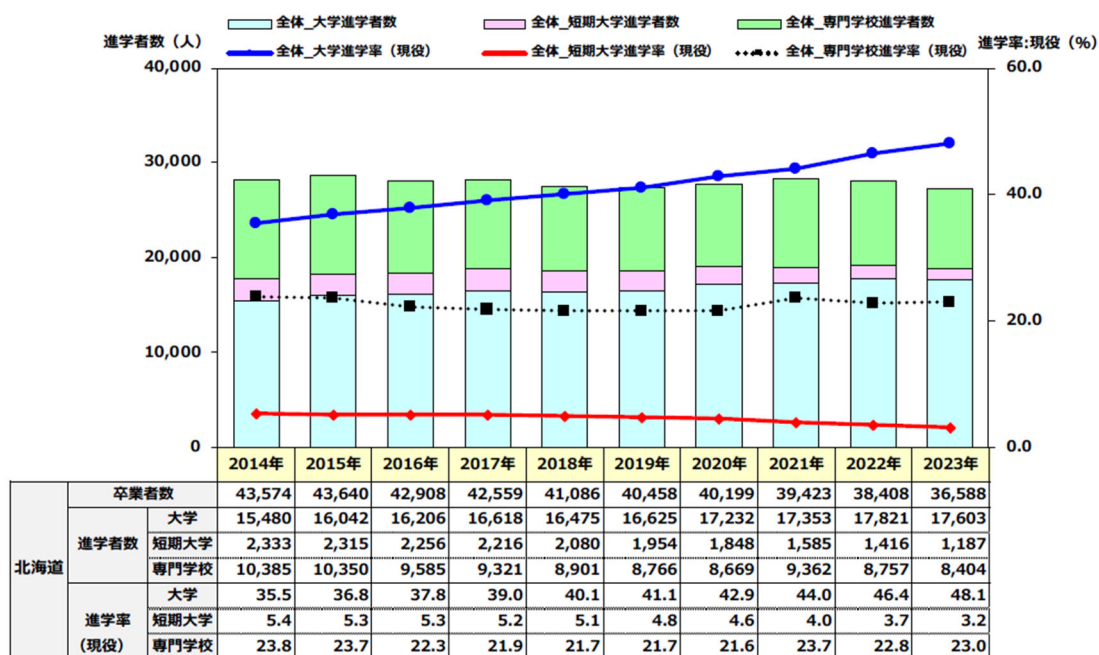


図1 北海道における進学者数・進学率（現役）の推移

（「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 北海道版」

リクルート進学総研マーケットリポート 2023. Vol. 119, 2024年2月号

[https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023\\_souken\\_report/2023\\_hokkaido\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023_souken_report/2023_hokkaido_souken_report.pdf)

資料 10：地元残留率の推移

1) エリア別

- ・全体で2014年43.2%→2023年44.8%と1.6ポイント上昇。
- ・2023年上昇が高いのは、1位 北陸（112.5）、2位 甲信越（110.2）、3位 近畿（107.2）。※注
- ・2023年残留率が高いのは、1位 北海道（65.6%）、2位 東海（50.2%）、3位 南関東（48.8%）。
- ・2023年残留率が低いのは、1位 北関東（24.4%）、2位 甲信越（28.0%）、3位 四国（28.4%）。

※注（）内は指数=2014年を100として算出

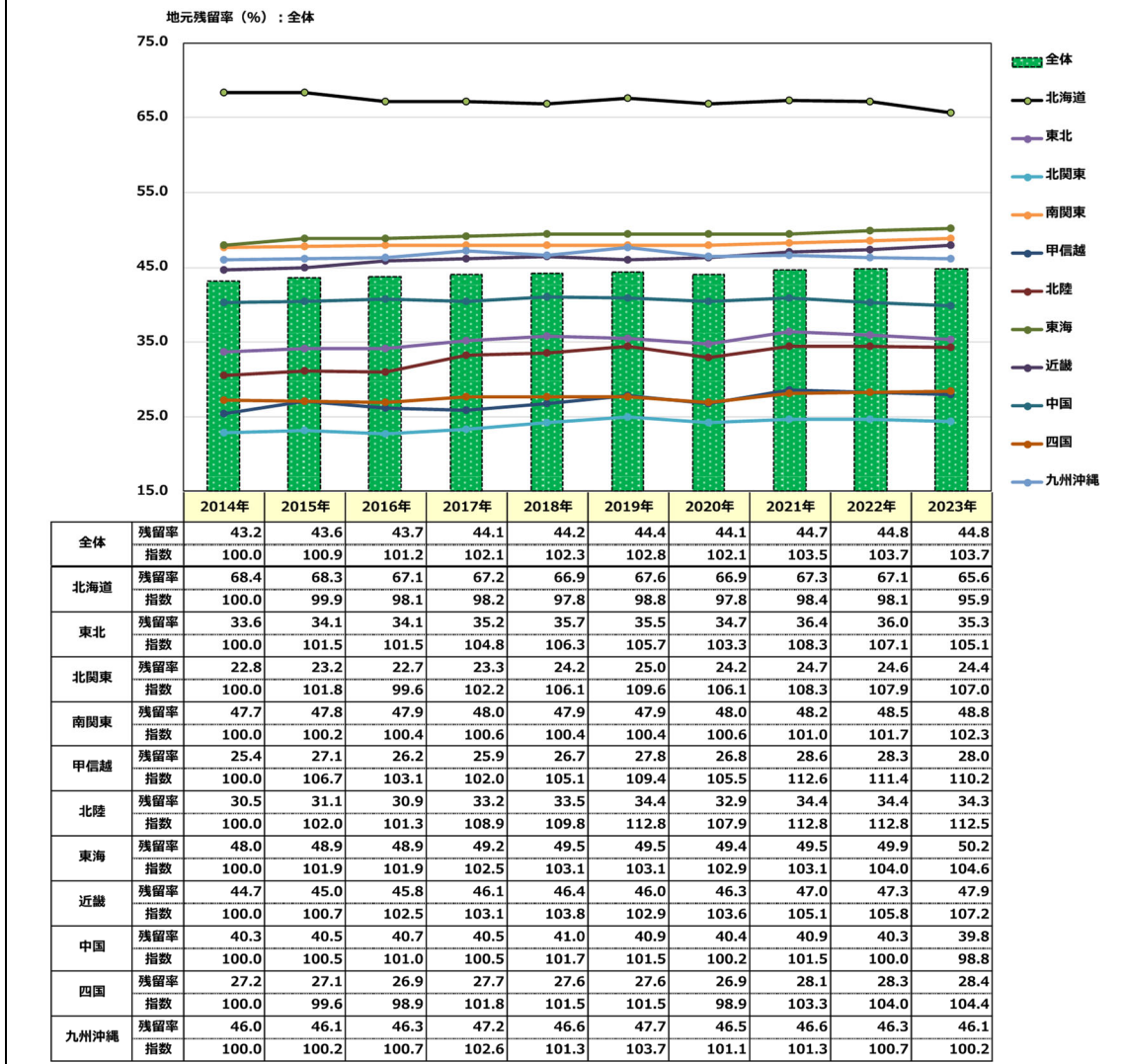


図 1 地元残留率の推移 (エリア別)

(「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 全国版」)

リクルート進学総研マーケットリポート 2023. Vol. 118, 2024年2月号

[https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023\\_souken\\_report/2023\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023_souken_report/2023_souken_report.pdf)

2) 都道府県別

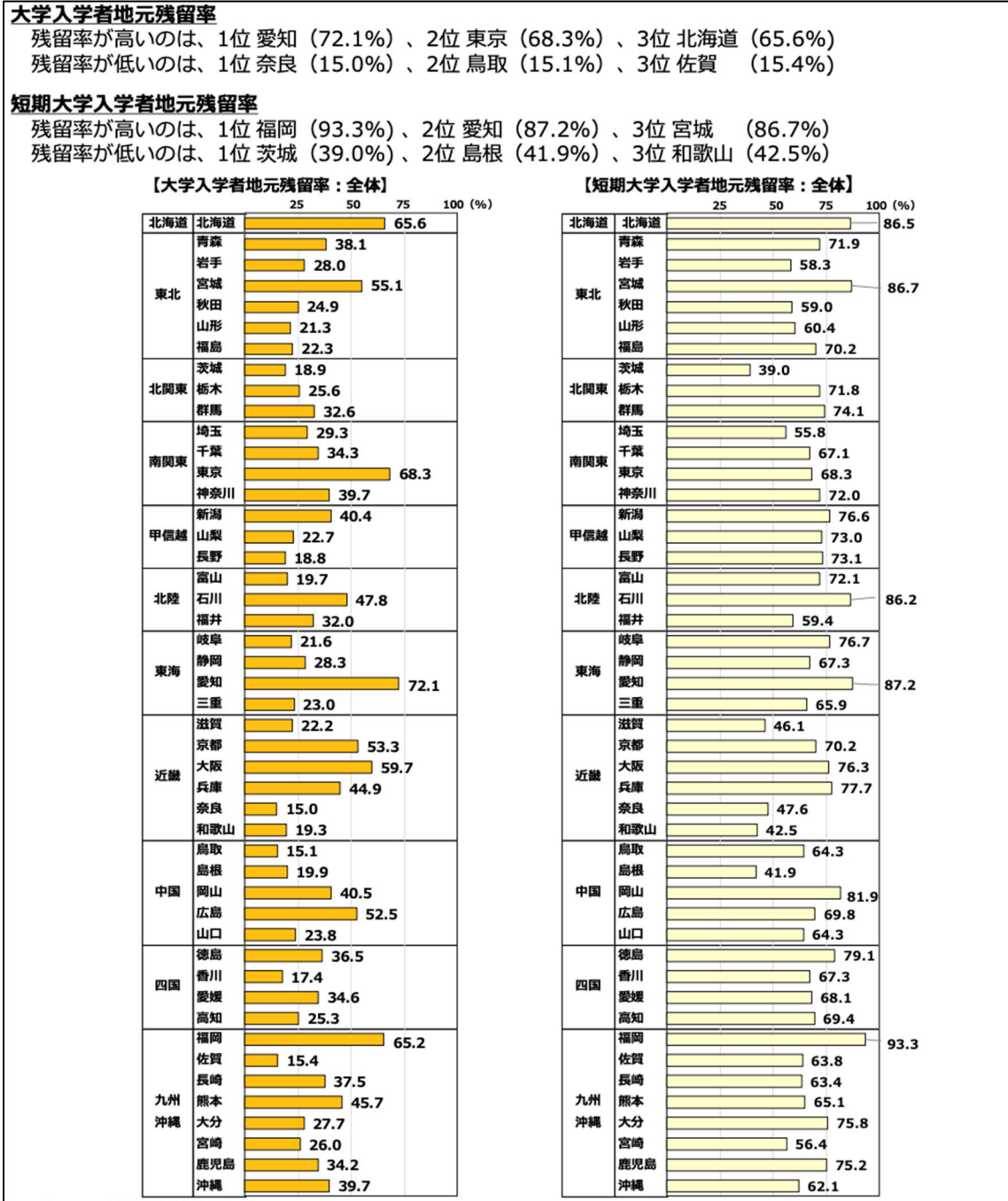


図2 地元残留率の推移 (都道府県別)

(「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 全国版」)

リクルート進学総研マーケットリポート 2023. Vol. 118, 2024年2月号

[https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023\\_souken\\_report/2023\\_souken\\_report.pdf](https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2023_souken_report/2023_souken_report.pdf)

資料 11：新設組織が置かれる都道府県への入学状況（別紙 1）

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	北海道	13,800人	73.5%
2	東京都	549人	2.9%
3	その他	326人	1.7%
4	愛知県	291人	1.6%
5	神奈川県	290人	1.5%
	全 体	18,766人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	北海道	102.33%	98.85%	94.86%

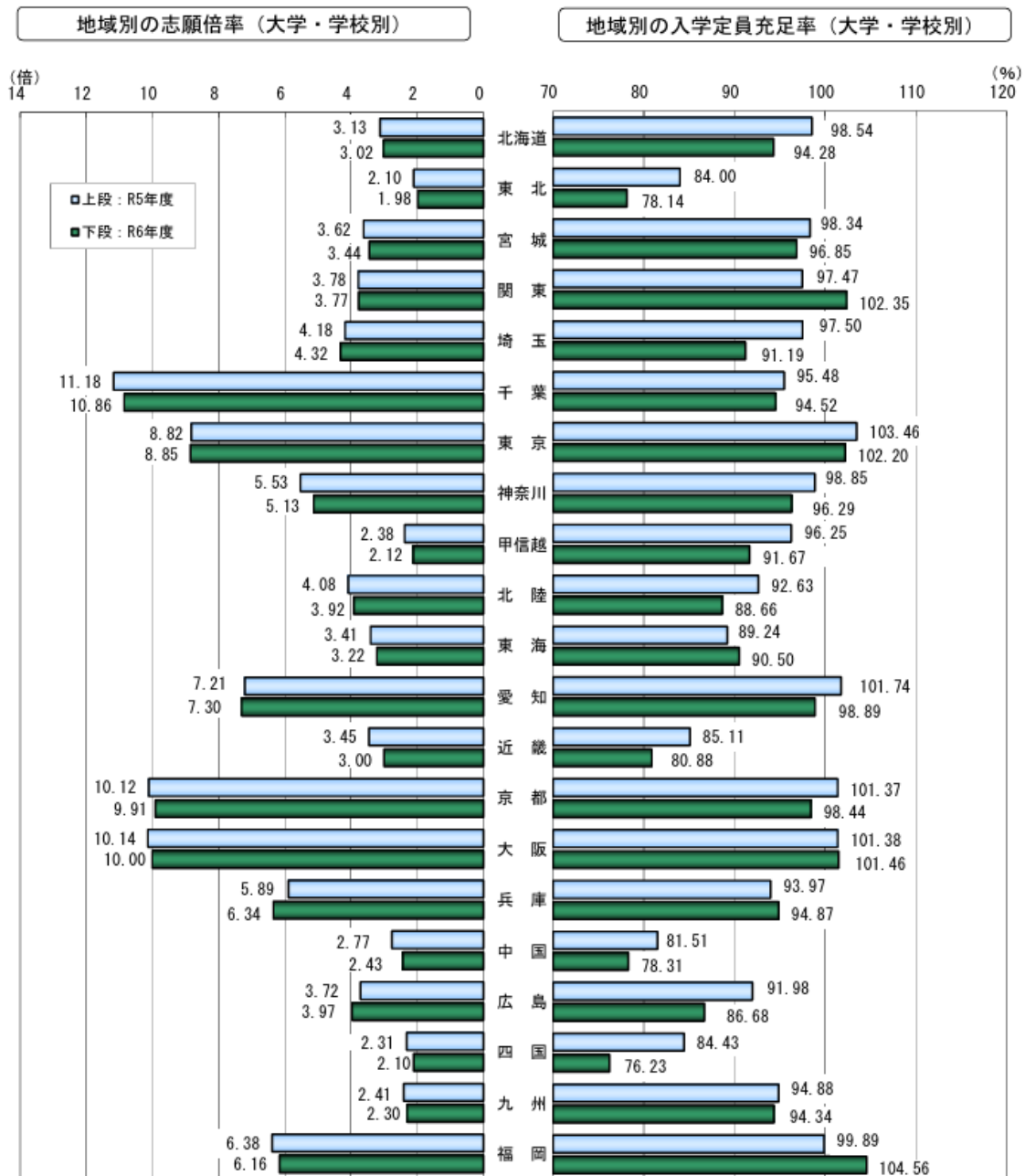
※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	体育学	104.22%	100.02%	98.05%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

資料 12：地域別の入学定員充足率



地域区分

北海道	北海道
東北	青森・岩手・秋田・山形・福島
宮城	宮城
関東	茨城・栃木・群馬
埼玉	埼玉
千葉	千葉
東京	東京
神奈川	神奈川
甲信越	新潟・山梨・長野
北陸	富山・石川・福井

東海	岐阜・静岡・三重
愛知	愛知
近畿	滋賀・奈良・和歌山
京都	京都
大阪	大阪
兵庫	兵庫
中国	鳥取・島根・岡山・山口
広島	広島
四国	徳島・香川・愛媛・高知
九州	佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
福岡	福岡

図 1 地域別の充足率 (令和 5 年度・令和 6 年度)

(令和 6 (2024) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向「2. 地域別の動向 (大学・学校別)」  
<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR6.pdf>)

資料 13：既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）（別紙 2-1, 2-2, 2-3, 2-4, 2-5）

既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）

別紙 2 - 1

大学学部学科等名：生涯スポーツ学部スポーツ教育学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	60人	50人	50人	50人	50人	52人	
	延べ人数	志願者数	91人	73人	86人	108人	85人	89人
		受験者数	91人	73人	86人	108人	85人	89人
		合格者数	58人	54人	53人	74人	73人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	91人	73人	86人	108人	85人	89人
		受験者数	91人	73人	86人	108人	85人	89人
		合格者数	58人	54人	53人	74人	73人	62人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	2人	1人	0人	1人
	入学者数	58人	54人	51人	73人	73人	62人	
	学校推薦型選抜	募集人数	60人	50人	70人	70人	70人	64人
延べ人数		志願者数	115人	149人	90人	131人	91人	115人
		受験者数	115人	149人	90人	131人	91人	115人
		合格者数	109人	135人	90人	124人	90人	110人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	115人	149人	90人	131人	91人	115人
		受験者数	115人	149人	90人	131人	91人	115人
		合格者数	109人	135人	90人	124人	90人	110人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		109人	135人	90人	124人	90人	110人	
一般選抜		募集人数	17人	25人	31人	31人	31人	27人
	延べ人数	志願者数	49人	48人	57人	45人	33人	46人
		受験者数	43人	47人	56人	38人	33人	43人
		合格者数	30人	27人	50人	32人	32人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	11人	23人	10人	21人	15人
	実人数	志願者数	49人	48人	57人	45人	33人	46人
		受験者数	43人	47人	56人	38人	33人	43人
		合格者数	30人	27人	50人	32人	32人	34人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	11人	23人	10人	21人	15人
	入学者数	18人	16人	27人	22人	11人	19人	
	共通テスト利用入試	募集人数	23人	35人	29人	29人	29人	29人
延べ人数		志願者数	70人	67人	67人	77人	64人	69人
		受験者数	70人	67人	67人	77人	63人	69人
		合格者数	50人	36人	56人	43人	59人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	21人	38人	31人	46人	33人
実人数		志願者数	70人	67人	67人	77人	64人	69人
		受験者数	70人	67人	67人	77人	63人	69人
		合格者数	50人	36人	56人	43人	59人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	30人	21人	38人	31人	46人	33人
入学者数		20人	15人	18人	12人	13人	16人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	160人	160人	180人	180人	180人	172人
延べ人数		志願者数	325人	338人	300人	361人	273人	319人
		受験者数	319人	337人	299人	354人	272人	316人
		合格者数	247人	253人	249人	273人	254人	255人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	42人	32人	63人	42人	67人	49人
実人数		志願者数	325人	338人	300人	361人	273人	319人
		受験者数	319人	337人	299人	354人	272人	316人
		合格者数	247人	253人	249人	273人	254人	255人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	42人	32人	63人	42人	67人	49人
入学者数		205人	221人	186人	231人	187人	206人	

2. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	160人	160人	180人	180人	180人	172人
入学定員充足率	1.28	1.38	1.03	1.28	1.04	1.20
歩留率	0.83	0.87	0.75	0.85	0.74	0.81

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-2

大学学部学科等名：生涯スポーツ学部健康福祉学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	20人	20人	8人	10人	10人	14人	
	延べ人数	志願者数	18人	11人	9人	15人	12人	13人
		受験者数	18人	11人	9人	15人	12人	13人
		合格者数	18人	11人	9人	15人	12人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	18人	11人	9人	15人	12人	13人
		受験者数	18人	11人	9人	15人	12人	13人
		合格者数	18人	11人	9人	15人	12人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	18人	9人	9人	15人	12人	13人	
	学校推薦型選抜	募集人数	20人	15人	10人	10人	10人	13人
		延べ人数	志願者数	17人	11人	33人	23人	20人
受験者数			17人	11人	33人	23人	20人	21人
合格者数			17人	11人	33人	23人	20人	21人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	17人	11人	33人	23人	20人	21人
		受験者数	17人	11人	33人	23人	20人	21人
		合格者数	17人	11人	33人	23人	20人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		17人	11人	33人	23人	20人	21人	
一般選抜		募集人数	10人	15人	14人	12人	12人	13人
		延べ人数	志願者数	12人	17人	10人	8人	7人
	受験者数		12人	16人	10人	8人	7人	11人
	合格者数		12人	16人	10人	8人	6人	10人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		5人	7人	9人	5人	5人	6人
	実人数	志願者数	12人	17人	10人	8人	7人	11人
		受験者数	12人	16人	10人	8人	7人	11人
		合格者数	12人	16人	10人	8人	6人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	7人	9人	5人	5人	6人
	入学者数	7人	9人	1人	3人	1人	4人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	8人	8人	8人	9人
		延べ人数	志願者数	12人	8人	9人	10人	5人
受験者数			12人	8人	9人	10人	5人	9人
合格者数			11人	8人	9人	10人	5人	9人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			11人	5人	7人	8人	5人	7人
実人数		志願者数	12人	8人	9人	10人	5人	9人
		受験者数	12人	8人	9人	10人	5人	9人
		合格者数	11人	8人	9人	10人	5人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	5人	7人	8人	5人	7人
入学者数		0人	3人	2人	2人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	60人	60人	40人	40人	40人	48人
		延べ人数	志願者数	59人	47人	61人	56人	44人
受験者数			59人	46人	61人	56人	44人	53人
合格者数			58人	46人	61人	56人	43人	53人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			16人	14人	16人	13人	10人	14人
実人数		志願者数	59人	47人	61人	56人	44人	53人
		受験者数	59人	46人	61人	56人	44人	53人
		合格者数	58人	46人	61人	56人	43人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	16人	14人	16人	13人	10人	14人
入学者数		42人	32人	45人	43人	33人	39人	

2. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	40人	40人	40人	48人
入学定員充足率	0.70	0.53	1.13	1.08	0.83	0.85
歩留率	0.72	0.70	0.74	0.77	0.77	0.74

大学学部学科等名：教育文化学部教育学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	50人	34人	
	延べ人数	志願者数	63人	63人	68人	59人	65人	64人
		受験者数	63人	63人	68人	59人	65人	64人
		合格者数	50人	34人	43人	42人	57人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	0人	2人	0人	1人
	実人数	志願者数	63人	63人	68人	59人	65人	64人
		受験者数	63人	63人	68人	59人	65人	64人
		合格者数	50人	34人	43人	42人	57人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	0人	2人	0人	1人
	入学者数	48人	33人	43人	40人	57人	44人	
	学校推薦型選抜	募集人数	50人	50人	50人	50人	30人	46人
		延べ人数	志願者数	69人	94人	82人	83人	66人
受験者数			69人	94人	82人	83人	66人	79人
合格者数			69人	89人	81人	81人	66人	77人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	69人	94人	82人	83人	66人	79人
		受験者数	69人	94人	82人	83人	66人	79人
		合格者数	69人	89人	81人	81人	66人	77人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		69人	89人	81人	81人	66人	77人	
一般選抜		募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	77人	87人	71人	64人	61人
	受験者数		63人	83人	65人	61人	56人	66人
	合格者数		32人	16人	27人	42人	50人	33人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		18人	8人	16人	24人	29人	19人
	実人数	志願者数	77人	87人	71人	64人	61人	72人
		受験者数	63人	83人	65人	61人	56人	66人
		合格者数	32人	16人	27人	42人	50人	33人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	18人	8人	16人	24人	29人	19人
	入学者数	14人	8人	11人	18人	21人	14人	
	共通テスト利用入試	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		延べ人数	志願者数	186人	121人	114人	82人	105人
受験者数			186人	121人	114人	82人	105人	122人
合格者数			51人	45人	52人	63人	85人	59人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			31人	27人	42人	52人	74人	45人
実人数		志願者数	186人	121人	114人	82人	105人	122人
		受験者数	186人	121人	114人	82人	105人	122人
		合格者数	51人	45人	52人	63人	85人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	31人	27人	42人	52人	74人	45人
入学者数		20人	18人	10人	11人	11人	14人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	120人	120人	120人	120人	120人	120人
		延べ人数	志願者数	395人	365人	335人	288人	297人
受験者数			381人	361人	329人	285人	292人	330人
合格者数			202人	184人	203人	228人	258人	215人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			51人	36人	58人	78人	103人	65人
実人数		志願者数	395人	365人	335人	288人	297人	336人
		受験者数	381人	361人	329人	285人	292人	330人
		合格者数	202人	184人	203人	228人	258人	215人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	51人	36人	58人	78人	103人	65人
入学者数		151人	148人	145人	150人	155人	150人	

2. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120人
入学定員充足率	1.26	1.23	1.21	1.25	1.29	1.25
歩留率	0.75	0.80	0.71	0.66	0.60	0.70

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-4

大学学部学科等名：教育文化学部芸術学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	16人	18人	18人	18人	18人	18人	
	延べ人数	志願者数	16人	13人	9人	21人	19人	16人
		受験者数	16人	13人	9人	21人	19人	16人
		合格者数	16人	13人	9人	21人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	16人	13人	9人	21人	19人	16人
		受験者数	16人	13人	9人	21人	19人	16人
		合格者数	16人	13人	9人	21人	18人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	15人	13人	9人	20人	18人	15人	
	学校推薦型選抜	募集人数	18人	18人	18人	18人	18人	18人
		延べ人数	志願者数	16人	22人	23人	37人	19人
受験者数			16人	22人	23人	37人	19人	23人
合格者数			16人	22人	23人	37人	19人	23人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	1人	0人
実人数		志願者数	16人	22人	23人	37人	19人	23人
		受験者数	16人	22人	23人	37人	19人	23人
		合格者数	16人	22人	23人	37人	19人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
入学者数		16人	22人	23人	37人	18人	23人	
一般選抜		募集人数	10人	8人	8人	8人	8人	8人
		延べ人数	志願者数	12人	11人	21人	12人	10人
	受験者数		12人	11人	19人	12人	9人	13人
	合格者数		12人	11人	19人	12人	9人	13人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		7人	5人	15人	8人	6人	8人
	実人数	志願者数	12人	11人	21人	12人	10人	13人
		受験者数	12人	11人	19人	12人	9人	13人
		合格者数	12人	11人	19人	12人	9人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	5人	15人	8人	6人	8人
	入学者数	5人	6人	4人	4人	3人	4人	
	共通テスト利用入試	募集人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
		延べ人数	志願者数	22人	18人	28人	25人	24人
受験者数			22人	17人	28人	24人	23人	23人
合格者数			22人	17人	28人	23人	23人	23人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			14人	16人	15人	13人	18人	15人
実人数		志願者数	22人	18人	28人	25人	24人	23人
		受験者数	22人	17人	28人	24人	23人	23人
		合格者数	22人	17人	28人	23人	23人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	16人	15人	13人	18人	15人
入学者数		8人	1人	13人	10人	5人	7人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		延べ人数	志願者数	66人	64人	81人	95人	72人
受験者数			66人	63人	79人	94人	70人	74人
合格者数			66人	63人	79人	93人	69人	74人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			22人	21人	30人	22人	25人	24人
実人数		志願者数	66人	64人	81人	95人	72人	76人
		受験者数	66人	63人	79人	94人	70人	74人
		合格者数	66人	63人	79人	93人	69人	74人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	21人	30人	22人	25人	24人
入学者数		44人	42人	49人	71人	44人	50人	

2. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	0.88	0.84	0.98	1.42	0.88	1.00
歩留率	0.67	0.67	0.62	0.76	0.64	0.67

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-5

大学学部学科等名：教育文化学部心理カウンセリング学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	15人	15人	10人	10人	12人	
	延べ人数	志願者数	30人	25人	17人	17人	23人	22人
		受験者数	30人	25人	17人	17人	23人	22人
		合格者数	28人	20人	16人	13人	20人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	30人	25人	17人	17人	23人	22人
		受験者数	30人	25人	17人	17人	23人	22人
		合格者数	28人	20人	16人	13人	20人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	入学者数	28人	19人	16人	13人	19人	19人	
	学校推薦型選抜	募集人数	17人	20人	20人	20人	20人	19人
		延べ人数	志願者数	33人	24人	36人	34人	32人
受験者数			33人	24人	36人	34人	32人	32人
合格者数			33人	24人	36人	34人	32人	32人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	33人	24人	36人	34人	32人	32人
		受験者数	33人	24人	36人	34人	32人	32人
		合格者数	33人	24人	36人	34人	32人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		32人	24人	36人	34人	32人	32人	
一般選抜		募集人数	15人	11人	11人	11人	11人	12人
		延べ人数	志願者数	28人	26人	28人	28人	12人
	受験者数		25人	24人	27人	27人	11人	23人
	合格者数		4人	13人	21人	17人	11人	13人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	8人	16人	15人	6人	9人
	実人数	志願者数	28人	26人	28人	28人	12人	24人
		受験者数	25人	24人	27人	27人	11人	23人
		合格者数	4人	13人	21人	17人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	8人	16人	15人	6人	9人
	入学者数	3人	5人	5人	2人	5人	4人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	4人	4人	9人	9人	7人
		延べ人数	志願者数	55人	17人	19人	33人	20人
受験者数			55人	17人	19人	33人	20人	29人
合格者数			7人	12人	11人	18人	18人	13人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			5人	6人	9人	15人	16人	10人
実人数		志願者数	55人	17人	19人	33人	20人	29人
		受験者数	55人	17人	19人	33人	20人	29人
		合格者数	7人	12人	11人	18人	18人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	5人	6人	9人	15人	16人	10人
入学者数		2人	6人	2人	3人	2人	3人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	50人	50人	50人	50人	50人	50人
		延べ人数	志願者数	146人	92人	100人	112人	87人
受験者数			143人	90人	99人	111人	86人	106人
合格者数			72人	69人	84人	82人	81人	78人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	15人	25人	30人	23人	20人
実人数		志願者数	146人	92人	100人	112人	87人	107人
		受験者数	143人	90人	99人	111人	86人	106人
		合格者数	72人	69人	84人	82人	81人	78人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	15人	25人	30人	23人	20人
入学者数		65人	54人	59人	52人	58人	58人	

2. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	50人	50人	50人	50人	50人	50人
入学定員充足率	1.30	1.08	1.18	1.04	1.16	1.15
歩留率	0.90	0.78	0.70	0.63	0.72	0.75

資料 14：既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績（別紙 3）

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績				別紙 3
①募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパスを実施し魅力を伝える（スポーツ教育・健康福祉学科）				
	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数(a)	467人	409人	①取組概要 オープンキャンパスでは、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、模擬授業、施設案内、入試制度説明会を実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパス参加者の受験率は67%強で入学率は50%強であり、新学科についても同程度の効果が見込まれる。 ③(b)に該当すると判断した基準 オープンキャンパス参加者のうちの各年度受験対象の高校3年生を抽出している。	
うち受験対象者数(b)	306人	254人		
うち受験者数(c)	206人	172人		
うち入学者数(d)	158人	140人		
(受験率 c/b)	67.3%	67.7%		
(入学率 d/b)	51.6%	55.1%		
②募集を行った学科等名称及び取組の名称：ホームページや各企業の媒体を利用し大学案内を配付（スポーツ教育・健康福祉学科）				
	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数(a)	19725人	18422人	①取組概要 各媒体を利用して本学の大学案内、募集要項、アドミッションガイド等を配付。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 対象者については希望学科ごとの集計が難しいため全学科対象の総数となる。 全学科対象からスポーツ教育学科、健康福祉学科への受験者を集計しているため受験率及び入学率の割合が少ないが、例年、同程度の資料請求者数を推移していることや新学科広報の強化として例年以上の資料請求を見込んでいる。 ③(b)に該当すると判断した基準 大学案内等配付者のうちの各年度受験対象の高校3年生を抽出している。	
うち受験対象者数(b)	7926人	7210人		
うち受験者数(c)	133人	87人		
うち入学者数(d)	79人	49人		
(受験率 c/b)	1.7%	1.2%		
(入学率 d/b)	1.0%	0.7%		
③募集を行った学科等名称及び取組の名称：進学相談会等のガイダンスに参加し大学の説明を行う（スポーツ教育・健康福祉学科）				
	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析	
参加者等総数(a)	3678人	3963人	①取組概要 進学相談会等に参加し、大学の魅力、学べる分野等の説明を行いオープンキャンパスへの参加や、出願につなげる。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 高校生徒に直接学科の魅力や情報を伝えることができるため参加している。今後も積極的に参加を予定している。 ③(b)に該当すると判断した基準 大学案内等配付者のうちの各年度受験対象の高校3年生を抽出している。	
うち受験対象者数(b)	470人	473人		
うち受験者数(c)	53人	49人		
うち入学者数(d)	43人	44人		
(受験率 c/b)	11.3%	10.4%		
(入学率 d/b)	9.1%	9.3%		

## 北翔大学 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科通信

### - 2025 年度教員採用候補者選考検査結果 -

スポーツ教育学科では教員を志す学生たちの多くが、北海道・札幌市教員採用候補者選考検査に合格して、道内の学校現場で活躍しています。

区 分		北翔大学			登録者数	本学割合
		現役	既卒	合計		
北海道採用	中学校 保健体育	4	6	10	43	23.3%
	高等学校 保健体育	7	6	13	34	38.2%
	特別支援学校 中学部 保健体育	10	0	10	14	71.4%
	特別支援学校 高等部 保健体育	3	3	6	15	40.0%
札幌市採用	中学校・高等学校 保健体育	1	3	4	14	28.6%
	特別支援学校（中学部・高等部）保健体育	1	1	2	8	25.0%
合 計		26	19	45		

※本学割合：登録者数に対する本学出身者の割合

### ～スポーツ教育学科の教員養成4つの特徴～

#### ○開学から続く伝統ある教員養成

昭和 41 年に開設された北海道女子短期大学体育科から保健体育科教員の養成に力を入れてきた道内私大トップの保健体育科教員養成課程校です。スポーツ教育学科では、スポーツ・健康に関する専門的知識を有する指導力のある保健体育科教員と障がいの特性に理解があり個人の教育的ニーズに応じた的確な支援のできる特別支援学校教員の養成に力を入れています。平成 12 年 4 月に開学した男女共学の 4 年制大学となってから、累計 436 名が教員採用候補者として登録されています。

#### ○充実したカリキュラムと体育・スポーツ研究施設

体育・スポーツ分野の高度な専門性を有する教員や現場経験の豊かな教員が、充実した体育・スポーツ研究施設で、理論と実践を徹底指導しています。



#### ○ボランティア活動など学校現場での体験を重視

体力測定、運動指導やスキー指導補助など学校現場で多様な活動に従事しながら教育実践力を高める学びを学校と協力して展開しています。



#### ○対策講座で合格まで手厚いサポート体制

教職センターと連携し、採用選考で求められる筆記試験や面接・実技等の対策講座を実施し、教員採用検査合格に向けて手厚いサポートをしています。



資料 16 : 「北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称、設置届出予定）に関するアンケート」【高校生対象】 調査結果報告書

1. 調査概要

1) 調査目的

2026年4月開設予定の北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」（仮称）の設置構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2) 調査概要

項目		高校生対象調査	
		調査①	調査②
調査対象		進学相談会等に参加した 近隣高校在籍者 (高校2年生)	オープンキャンパス参加者 (高校2年生)
調査エリア		北海道	
調査方法		郵送による依頼後、 Webアンケートにて回答	オープンキャンパス等イベント にて依頼し、Webアンケートにて 回答
調査対象数	依頼数	648名 (139校)	166名
	有効 回収数	27名 有効回収率：4.2%	166名
	合計	193名	
調査時期		2025年3月24日(月) ～4月8日(火)	2024年12月7日(土) ～3月16日(日)

3) 調査項目

高校生対象調査	
・学年	
・高校卒業後の希望進路	
・興味ある学問分野	
・北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科」の特色に対する興味	
・北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科」への受験意向	
・北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科」への入学意向	

## 2. 回答者の属性

本調査は、北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科に対する需要を確認するための調査として設計した。以下2種類の調査を実施して、合計193名から有効な回答を得た。

- 1) 進学相談会等に参加した近隣高校在籍者への調査
- 2) オープンキャンパス参加者への調査

調査対象者別の回答者数と全体に占める割合は、以下のとおりである。

- 1) 進学相談会等に参加した近隣高校在籍者への調査が27名(14.0%)
- 2) オープンキャンパス参加者への調査が166名(86.0%)

表1 調査対象と回答者数

上段：％ 下段：件数（名）	標本数 （全体）	近隣高校在 籍者への調 査	オープン キャンパス 参加者への 調査
全体	193	14.0 27	86.0 166

### 3. 高校卒業後の希望進路

- ・ 回答者のうち、今後「大学」に進学することを検討・希望している人は 93.8%。次いで、「専門学校」に進学が 5.7%である。
- ・ 高校卒業後の希望進路として「大学」「短期大学」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの進学希望を複数回答で聴取した。その結果、北翔大学の該当する「私立大学」を希望する人は 93.0%、「国立」「公立」ともに 10.8%であった。

表2 高校卒業後の進路

Q2. 現段階での高校卒業後の進路を教えてください。(複数回答可能)

上段：% 下段：件数（名）	標本数	大学	短期大学	専門学校	就職	その他	無回答
全体	193	93.8 181	2.1 4	5.7 11	0 0	4.7 9	0 0

※ 上段%は、実数に対する割合



表3 希望する大学等の区分（設置者）

Q3. 大学・短大への進学を希望する場合、希望する区分を選択してください。(複数回答可能)

上段：% 下段：件数（名）	標本数	私立	国立	公立	無回答
大学・短期大学 志望者	185	93.0 172	10.8 20	10.8 20	1.6 3

※ 上段%は、実数に対する割合

#### 4. 興味のある学問分野

- ・ 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「体育学（スポーツ科学）」が82.4%で最も高い。次いで、「教育学」が34.2%、「社会学（社会福祉・介護福祉）」が13.0%と続く。
- ・ 回答者のうち、私立大学進学希望者（169名）に限定すると、興味のある学問分野は「体育学（スポーツ科学）」が85.8%で最も高い。次で「教育学」が36.7%、「社会学（社会福祉・介護福祉）」が13.0%と続く。

<私立大学進学希望者>

- ① Q2で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q3で「私立」への進学を希望。

表4 興味のある学問分野

Q4. 高校卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（複数回答可能）

<全体>

上段：% 下段：件数（名）	標本数	体育学 （スポーツ科学）	教育学	社会学 （社会福祉・ 介護福祉）	家政学 （栄養学）	医学	薬学
全体	193	82.4 159	34.2 66	13.0 25	4.2 8	4.2 8	1.0 2

上段：% 下段：件数（名）	標本数	経済学	法学	文学	その他	無回答
全体	193	6.2 12	0 0	2.1 4	3.1 6	0 0

<私立大学進学希望者ベース>

上段：％ 下段：件数（名）	標本数	体育学 （スポーツ科学）	教育学	社会学 （社会福祉・ 介護福祉）	家政学 （栄養学）	医学	薬学
私立大学 進学希望者	169	85.8 145	36.7 62	13.0 22	3.6 6	2.4 4	1.2 2

上段：％ 下段：件数（名）	標本数	経済学	法学	文学	その他	無回答
私立大学 進学希望者	169	5.9 10	0 0	2.4 4	2.4 4	0 0

## 5. 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」への受験・入学意向

ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q2で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q3で「私立」への進学を希望。
- ③ Q4で、「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」と関連する学問分野への興味あり

上記の①～③の条件全てに合致する回答者（生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科のターゲット層該当者）は、169名である。

ターゲット層該当者の、「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」への受験意向と入学意向をみると、

- ・「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は119名
- ・「第二志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人は2名
- ・「第三志望以降として受験する」かつ「入学する」と回答した人は0名

上記を合計すると、いずれかの志望順位で「入学する」と回答した人は、121名であった。

表5 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」への受験・入学意向

Q5. あなたは、北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」（仮称、設置構想中）が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

Q6. Q5で①～③（受験する）を選択した方に質問です。北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」（仮称、設置構想中）を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

上段：％ 下段：件数(名)		標本数	入学意向				
			入学する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	入学しない	未定	無回答
受験意向	第1志望	169	70.4 119	0 0	0 0	0 0	0 0
	第2志望		1.2 2	4.1 7	0 0	0.6 1	0 0
	第3志望以降		0 0	0.6 1	0.6 1	1.2 2	1.2 2
	受験を検討している		9.4 16	0.6 1	0 0	7.1 12	0 0
	受験しない		0 0	0 0	1.2 2	0 0	1.2 2
	その他		0 0	0 0	0 0	0.6 1	0 0

## 6. 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する興味・関心

【生涯スポーツ学科】のターゲット層】合計：169名

- ① Q2で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q3で「私立」への進学を希望。
- ③ Q4で、「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」と関連する学問分野への興味あり

ターゲット層における「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する興味（＊）を見ると、最も高いのは「学校教育（保健体育、特別支援教育）」（77.5％）と「アスレティックトレーニング（トレーナー）」（77.5％）。次いで「アスリートコーチング（競技スポーツ選手・コーチ）」（71.0％）, 「スポーツサイエンス（スポーツ科学）」（53.9％）である。

ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人（第一志望者）における「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する興味（＊）を見ると、最も高いのは「アスレティックトレーニング（トレーナー）」（79.0％）。次に高いのは、「学校教育（保健体育、特別支援教育）」（78.2％）, 続いて「アスリートコーチング（競技スポーツ選手・コーチ）」（74.0％）, 「スポーツサイエンス（スポーツ科学）」（55.5％）である。

＊興味・関心＝「非常に興味がある」「やや興味がある」と回答した人の合計値

表6 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する関心・興味

Q8. 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	標本数	特色A	特色B	特色C	特色D	特色E	特色F	特色G	特色H
上段：％ 下段：件数（名）									
ターゲット層	169	77.5 131	77.5 131	71.0 120	53.9 91	40.2 68	42.6 72	30.8 52	36.7 62
第一志望者	119	78.2 93	79.0 94	74.0 88	55.5 66	42.9 51	47.9 57	31.9 38	38.7 46

＊第一志望者：

ターゲット層（大学進学希望×私立×関連学問分野興味あり）該当者のうち、北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人

### ・特色A：学校教育（保健体育・特別支援教育）

生涯スポーツやスポーツ科学に関する知識をベースに、運動やスポーツの楽しさを伝え、生徒の個性を伸ばすことができる保健体育科教員や、障害の状態や特性に応じた適切な指導・支援によって、生徒の可能性を最大限に伸ばすことができる特別支援学校教員を養成することを目的とする。

### ・特色B：アスレティックトレーニング（トレーナー）

スポーツをする人が直面する心身の多様な問題を自ら見つけ出し、スポーツ医科学のデータを活用しながら問題点に対する最善のコンディショニングを提案・指導できる人材を養

成することを目的とする。

・特色C：**アスリートコーチング（競技スポーツ選手、コーチ）**

競技力を高めるために必要なアスリートマインド、トレーニング理論、コーチング理論、技術・戦術論、データ分析方法などを学び、高度な知識や技能を修得し、自他の競技力向上・パフォーマンス発揮ができるアスリート・指導者・コーチ・アナリストなどを養成することを目的とする。

・特色D：**スポーツサイエンス（スポーツ科学）**

科学的知識と高度な専門性を基盤とし、エビデンスに基づいたアスリートサポートができる分析者を養成する。体系的なスポーツ科学の知識と技術を修得し、科学的根拠に基づく判断力と実践力を養成することで、スポーツ現場で効果的な指導とサポートを提供し、社会においてリーダーシップを発揮できるプロフェッショナルを養成することを目的とする。

・特色E：**スポーツマネジメント（チーム経営・組織集団経営・運営）**

生涯スポーツ現場でのビジネスモデルを探求していく中で、専門的なマネジメント理論を学ぶとともに、より実践的なマネジメント能力を有した人材を養成することを目的とする。

・特色F：**健康ウェルネス（健康づくり・介護支援）**

運動・スポーツを活用した健康増進、介護予防モデルを探求する中で、あらゆる世代や層に対する健康づくりや介護予防、認知症予防、地域づくり、障害者支援、介護支援に関する理論と実践力を学び、スポーツ、健康、福祉の力で少子高齢化が進む現代社会を活性化できる人材を養成することを目的とする。

・特色G：**社会福祉（ソーシャルワーカー）**

社会福祉学を基盤に、少子高齢化や過疎化などの生活問題と社会的課題を踏まえ、共生社会を実現するために必要となる専門的な知識や技術、価値・倫理を修得し、社会福祉士養成および公務員や民間企業など多様な分野で福祉マインドを有し主体的に取り組み活躍することができる人材を養成することを目的とする。

・特色H：**健康まちづくり（公務員・社会教育主事）**

地域における社会教育の振興や地域活性化の推進に寄与する人材として、社会教育主事任用資格や社会教育士の称号取得に合わせて、地域活性化や地域づくりに関する知識・実践力を身につけ、「地域創生」の視点を持つことのできる地方公務員やNPO職員、民間など様々な人材を養成することを目的とする。

表7 北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科(仮称、設置届出予定)に関するアンケート送付先高校一覧

No	高校名
1	北海道 札幌南(定時制)
2	北海道 札幌東
3	北海道 札幌南
4	北海道 札幌北
5	北海道 札幌啓成
6	北海道 札幌北陵
7	北海道 札幌手稲
8	北海道 札幌丘珠
9	北海道 江別
10	北海道 札幌西陵
11	北海道 札幌白石
12	北海道 千歳
13	北海道 千歳北陽
14	北海道 野幌
15	北海道 恵庭南
16	北海道 恵庭北
17	北海道 当別
18	北海道 有朋
19	札幌清田
20	札幌啓北商業
21	北海道 函館西
22	北海道 森
23	北海道 江差
24	北海道 大野農業
25	北海道 檜山北
26	北海道 知内
27	北海道 小樽桜陽
28	北海道 倶知安
29	北海道 余市紅志
30	北海道 岩内
31	北海道 留寿都
32	北海道 真狩
33	北海道 岩見沢東(定時制)
34	北海道 岩見沢農業
35	北海道 栗山
36	北海道 長沼
37	北海道 岩見沢緑陵
38	北海道 滝川
39	北海道 砂川
40	北海道 芦別

No	高校名
41	北海道 深川西
42	北海道 滝川西
43	北海道 旭川商業
44	北海道 上川
45	北海道 名寄
46	北海道 旭川南
47	北海道 羽幌
48	北海道 枝幸
49	北海道 北見北斗
50	北海道 北見柏陽
51	北海道 網走南ヶ丘
52	北海道 遠軽
53	北海道 美幌
54	北海道 苫小牧東
55	北海道 追分
56	北海道 伊達開来
57	北海道 鶴川
58	北海道 静内
59	北海道 帯広三条
60	北海道 本別
61	北海道 池田
62	北海道 広尾
63	北海道 芽室
64	北海道 上士幌
65	北海道 帯広南商業
66	北海道 釧路江南
67	北海道 根室
68	北海道 中標津
69	北海道 標茶
70	北海道 釧路北陽
71	北海道 霧多布
72	北海道 石狩翔陽
73	北海道 静内農業
74	北海道 札幌東陵
75	北海道 登別青嶺
76	札幌平岸
77	北海道 帯広緑陽
78	北海道 札幌真栄
79	北海道 札幌厚別
80	北海道 札幌あすかぜ

No	高校名
81	北海道 札幌東豊
82	北海道 石狩南
83	北海道 北広島西
84	北海道 旭川永嶺
85	北海道 北見緑陵
86	北海道 札幌稲雲
87	北海道 大麻
88	北海道 札幌平岡
89	北海道 札幌国際情報
90	北海道 美唄尚栄
91	北海道 紋別
92	北海道 釧路明輝
93	札幌大通
94	北海道 札幌英藍
95	北海道 留萌
96	北海道 幕別清陵
97	北海
98	札幌光星
99	クラーク記念国際 旭川キャンパス
100	北海学園札幌
101	飛鳥未来 札幌キャンパス
102	北海道科学大学
103	北星学園大学附属
104	北星学園女子
105	札幌大谷
106	札幌静修
107	札幌北斗
108	札幌山の手
109	札幌新陽
110	北海道文教大学附属
111	札幌龍谷学園
112	酪農学園大学附属とわの森三愛
113	東海大学付属札幌
114	札幌創成
115	遺愛女子
116	函館大谷
117	函館大学付属有斗
118	函館大妻
119	函館白百合学園
120	函館大学付属柏稜

No	高校名
121	北照
122	小樽双葉
123	小樽明峰
124	旭川藤星
125	旭川龍谷
126	旭川実業
127	旭川志峯
128	稚内大谷
129	北見藤
130	駒澤大学附属苫小牧
131	北海道栄
132	帯広大谷
133	白樺学園
134	クラーク記念国際
135	旭川明成
136	ルネサンス
137	飛鳥未来
138	青森山田 札幌校
139	N

資料 17 : 「北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称、設置届出予定）に関するアンケート」【高校生対象】 調査用紙

## 北翔大学 生涯スポーツ学部・生涯スポーツ学科（仮称、設置届出予定）に関するアンケート

生涯スポーツ学部スポーツ教育学科と健康福祉学科は、令和8年4月から「生涯スポーツ学部・生涯スポーツ学科（仮称、設置届出予定）」として開設予定です。

その学部・学科内容に関するアンケートです。

匿名で実施するため、個人が特定されたり、入試の可否に影響することは一切ありません。

ご回答いただいた内容は、新学科開設のための基礎資料としてのみ利用し、それ以外の目的には利用しません。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

\* 必須

1. 令和7年4月現在の学年を教えてください。\*

高校3年

その他

2. 現段階での高校卒業後の進路を教えてください。（複数回答可能）\*

大学

短期大学

専門学校

就職

その他

3. 大学・短大への進学を希望する場合、希望する区分を選択してください。（複数回答可能）

- 国立
- 公立
- 私立
- その他

4. 高校卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（複数回答可能） \*

- 体育学（スポーツ科学）
- 教育学
- 社会学（社会福祉・介護福祉）
- 家政学（栄養学）
- 医学
- 薬学
- 経済学
- 法学
- 文学
- その他

5. 生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科が開設された場合、受験を希望しますか？次より1つ選択してください。\*

- 第1志望として受験する
- 第2志望として受験する
- 第3志望以降として受験する
- 受験を検討している
- 受験しない
- その他

6. 生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科を受験して合格した場合、入学を希望しますか？\*

- 入学する
- 志願順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない
- 未定
- その他

7. 3月16日（日）の本学オープンキャンパスに参加し、本アンケートに回答しましたか？\*

- 参加して、アンケートに回答した
- 参加したが、アンケートには回答していない
- 参加していない

8. 生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科では、以下の内容を学ぶことができます。以下、設問15までの各内容について、皆さんの関心・興味について、あてはまるものを選んでください。

## 学校教育（保健体育・特別支援教育）

生涯スポーツやスポーツ科学に関する知識をベースに、運動やスポーツの楽しさを伝え、生徒の個性を伸ばすことができる保健体育科教員や、障がいの種類や程度に応じた適切な指導によって、生徒の可能性を伸ばすことができる特別支援学校教員を養成することを目的とする。

\*

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- どちらともいえない
- あまり興味がない
- まったく興味がない

## 9. アスレティックトレーニング（トレーナー）

スポーツをする人が直面する心身の多様な問題を自ら見つけ出し、スポーツ医科学のデータを活用しながら問題点に対する最善のコンディショニングを提案・指導できる人材を養成することを目的とする。\*

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- どちらともいえない
- あまり興味がない
- まったく興味がない

## 10. アスリートコーチング（競技スポーツ選手、コーチ）

競技力を高めるために必要なアスリートマインド、トレーニング理論、コーチング理論、技術・戦術論、データ分析方法などを学び、高度な知識や技能を修得し、自他の競技力向上・パフォーマンス発揮ができるアスリート・指導者・コーチ・アナリストなどを養成することを目的とする。

\*

- 非常に興味がある

- やや興味がある
- どちらともいえない
- あまり興味がない
- まったく興味がない

### 11. スポーツサイエンス（スポーツ科学）

科学的知識と高度な専門性を基盤とし、エビデンスに基づいたアスリートサポートができる分析者を養成する。体系的なスポーツ科学の知識と技術を修得し、科学的根拠に基づく判断力と実践力を養成することで、スポーツ現場で効果的な指導とサポートを提供し、社会においてリーダーシップを発揮できるプロフェッショナルを養成することを目的とする。

\*

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- どちらともいえない
- あまり興味がない
- まったく興味がない

### 12. スポーツマネジメント（チーム経営・組織集団経営・運営）

生涯スポーツ現場でのビジネスモデルを探究していくなかで、専門的なマネジメント理論を学ぶとともに、より実践的なマネジメント能力を有した人材を養成することを目的とする。

\*

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- どちらともいえない
- あまり興味がない

まったく興味がない

### 13. 健康ウェルネス（健康づくり・介護支援）

運動・スポーツを活用した健康増進、介護予防モデルを探求する中で、あらゆる世代や層に対する健康づくりや介護予防、認知症予防、地域づくり、障がい者支援、介護支援に関する理論と実践力を学び、スポーツ、健康、福祉の力で少子高齢化が進む現代社会を活性化できる人材を養成することを目的とする。

\*

非常に興味がある

やや興味がある

どちらともいえない

あまり興味がない

まったく興味がない

### 14. 社会福祉（ソーシャルワーカー）

子どもや高齢者、障害児者、医療などの福祉分野で活躍する社会福祉士の国家資格取得を目指したり、地域社会の福祉課題の解決に向けて、コミュニケーションや人と関わる技術や知識を修得した人材を養成することを目的とする。

\*

非常に興味がある

やや興味がある

どちらともいえない

あまり興味がない

まったく興味がない

### 15. 健康まちづくり（公務員・社会教育主事）

地域における社会教育の振興や地域活性化の推進に寄与する人材として、社会教育

主事任用資格取得に合わせて、地域活性化や地域づくりに関する知識・実践力を身につけ、「地域創生」の視点を持つことのできる地方公務員やNPO職員、民間など様々な人材を養成することを目的とする。

\*

- 非常に興味がある
- やや興味がある
- どちらともいえない
- あまり興味がない
- まったく興味がない

16. 上記8～15の8分野で「最も」興味がある分野を一つ選んでください。\*

- 学校教育（保健体育、特別支援教育）
- アスレティックトレーニング（トレーナー）
- アスリートコーチング（競技スポーツ選手・、コーチ）
- スポーツサイエンス（スポーツ科学）
- スポーツマネジメント（チーム経営・組織集団経営・運営）
- 健康ウェルネス（健康づくり・介護支援）
- 社会福祉（ソーシャルワーカー）
- 健康まちづくり（公務員、社会教育主事）

17. 上記8～15の8分野で「2番目に」興味のある分野を一つ選んでください。\*

- 学校教育（保健体育、特別支援教育）
- アスレティックトレーニング（トレーナー）

- アスリートコーチング（競技スポーツ選手・、コーチ）
- スポーツサイエンス（スポーツ科学）
- スポーツマネジメント（チーム経営・組織集団経営・運営）
- 健康ウェルネス（健康づくり・介護支援）
- 社会福祉（ソーシャルワーカー）
- 健康まちづくり（公務員、社会教育主事）

18. 上記8～15の8分野で「3番目に」興味のある分野を一つ選んでください。\*

- 学校教育（保健体育、特別支援教育）
- アスレティックトレーニング（トレーナー）
- アスリートコーチング（競技スポーツ選手・、コーチ）
- スポーツサイエンス（スポーツ科学）
- スポーツマネジメント（チーム経営・組織集団経営・運営）
- 健康ウェルネス（健康づくり・介護支援）
- 社会福祉（ソーシャルワーカー）
- 健康まちづくり（公務員、社会教育主事）

19. 上記8～15以外に学びたい内容、分野があれば、記載してください。ご協力ありがとうございました。

回答を入力してください

## 資料 18：北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称）概要

### 北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称）の概要

令和 8 年 4 月開設予定（設置届出予定）

（記載の内容は、現在構想中の予定であり、変更される場合があります）

#### 1. 学部・学科の名称、学位の名称

学部：生涯スポーツ学部：School of Lifelong Sport

学科：生涯スポーツ学科：Department of Lifelong Sport

学位：スポーツ科学：Sport Sciences

：社会福祉学：Social Welfare

（本学「社会福祉士受験資格取得に関する履修規程」で定める科目を修めて社会福祉士受験資格を得た者に授与する）

#### 2. 定員

入学定員：220 名

編入学定員：15 名

収容定員：910 名

#### 3. 所在地

北海道江別市文京台 23 番地 北翔大学 電話：011-386-8011(代表)

#### 4. アクセス





## 5. 学生納付金（授業料等）

内 訳	前学期 (入学手続時)	後学期 (9月30日)	初年度合計
入学金	310,000円	—	310,000円
授業料	425,000円	425,000円	850,000円
施設設備費	125,000円	125,000円	250,000円
合計	860,000円	550,000円	1,410,000円

※経済情勢などの変動により改定されることがあります。

## 6. 設置の理念

本学「生涯スポーツ学部」では、生涯スポーツを「生涯にわたる各ライフステージにおいて、個人の興味・関心・年齢・体力等に応じて実施するスポーツ活動」と捉え、「スポーツや健康に関する理論や実践について探究し、主体的・活動的・健康的な生き方を実践・支援できる人材を育成し、生涯にわたってスポーツに親しむことができる健康で豊かな生涯スポーツ社会の構築に貢献すること」を目的に、平成 21 年度に開設した。平成 26 年 4 月にはその趣旨を受け継ぎながら、今後の北海道の高齢化や過疎化という地域課題に向き合う人材の育成を目指して、「スポーツ教育学科」と「健康福祉学科」の 2 学科とした。両学科の学びを通して生涯スポーツ社会の構築の一端を担ってきた。

スポーツや健康、福祉などの分野は、単独で成り立つものではなく、学際的なアプローチが必要である。学術的な背景を活かし、スポーツサイエンス、心理学、社会福祉学、教育学、経済学などの知識を統合することで、より実効性のある生涯スポーツ社会の構築が可能となる。これにより、多様な問題を解決するための総合的な視点を持つことができ、社会の中で活躍できる力を育むことができる。学術分野に立脚した教育を進めることで、多様な職業に対応できる能力を身につけることができ、生涯スポーツ社会の構築に貢献することができる。進路の多様化に対応する柔軟かつ専門的な教育体系を整えることが、生涯スポーツ社会を構築するためには必要不可欠である。

以上のことから、「生涯スポーツ学科」を設置することとした(令和 8 年 4 月開設予定、設置届出予定)。

## 7. 養成人材像

豊かな生涯スポーツ社会の実現に向けて、幅広い視点からスポーツを行う人や環境をサポートする人材の養成が必要である。本学科では、以下の8つの視点で人材を育成する。

- 1) 運動やスポーツの楽しさを伝え、生徒の可能性を伸ばすことができる保健体育科教員
- 2) スポーツ実施者が抱える心身の問題に対して最善のコンディショニングを提案できるトレーナー
- 3) より高いパフォーマンス発揮を実現できるアスリートならびにコーチ
- 4) 科学的な知識や高度な専門性から競技スポーツや健康スポーツを支えるアナリスト
- 5) スポーツビジネス界を開拓するマネジメントスタッフ
- 6) 少子高齢社会を活性化できる健康づくり支援者
- 7) 「誰ひとり取り残さない」共生社会の実現に向け、問題を抱える人に寄り添える社会福祉士
- 8) 地域活性化を推進していくことのできる地方公務員やNPO職員

## 8. 学びの分野

- 1) 学校教育
- 2) アスレティックトレーニング
- 3) アスリートコーチング
- 4) スポーツサイエンス
- 5) スポーツマネジメント
- 6) 健康ウェルネス
- 7) 社会福祉
- 8) 健康まちづくり

## 9. 主な取得可能な資格

NO	取得可能な免許・資格	種別	取得内容	取得条件
1	中学校・高等学校教諭1種免許状 (保健体育)	国家資格	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目のほか、 教職関連科目の履修が必要
2	特別支援学校教諭1種免許状(知的 障害者・肢体不自由者・病弱者)	国家資格	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目のほか、 教職関連科目の履修が必要
3	健康運動指導士	民間資格 (公益財団法人健康・体力づくり事業 財団認定資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
4	日本スポーツ協会公認スポーツ 指導者 共通科目Ⅲ	民間資格 (公益財団法人日本スポーツ協会認定 資格)	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
5	日本スポーツ協会公認アスレティッ クトレーナー	民間資格 (公益財団法人日本スポーツ協会認定 資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
6	日本スポーツ協会公認 エアロビックコーチ1	民間資格 (公益財団法人日本スポーツ協会認定 資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
7	日本スポーツ協会公認 アシスタントマネジャー	民間資格 (公益財団法人日本スポーツ協会認定 資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
8	日本スポーツ協会公認 ジュニアスポーツ指導員	民間資格 (公益財団法人日本スポーツ協会認定 資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
9	レクリエーション・インストラク ター	民間資格 (公益財団法人日本レクリエーション 協会認定資格)	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
10	キャンプディレクター2級	民間資格 (公益社団法人日本キャンプ協会公認 指導者資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
11	キャンプインストラクター	民間資格 (公益社団法人日本キャンプ協会公認 指導者資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
12	認定トレーニング指導者(JATI)	民間資格 (NPO日本トレーニング指導者協会認 定資格)	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
13	初級バラスポーツ指導員	民間資格 (公益財団法人日本バラスポーツ協会 認定資格)	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
14	社会福祉士	国家資格	受験 資格	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
15	介護職員初任者研修	民間資格 (指定事業者：北翔大学)	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
16	社会教育主事・社会教育士	任用資格・称号	資格取得 可能	卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得 可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない

## 10. 学部・学科等の特色

生涯スポーツ学部・生涯スポーツ学科は、スポーツおよび健康福祉分野を軸とし、8分野の学びを展開し、地域社会と連携しながら多様なニーズに応えることを目的とした。

### 1) 北海道におけるスポーツに関する人材の輩出

北海道では、スポーツ関連の専門職や指導者が不足していることが課題となっており、地域のスポーツ活動の充実が求められている。このような人材不足を解決するためには、教育と研究を通じて、地域におけるスポーツの普及や質の向上を図る必要がある。

### 2) スポーツと生涯スポーツ社会の実現

スポーツは、地域社会の健康維持や人々の社会参加を促進する重要な手段である。生涯スポーツ社会を実現するためには、すべての世代が健康的な生活を送り、スポーツを通じて社会貢献を実感できる環境を整備することが必要である。本学科の教育課程を通じて、地域に即したスポーツプログラムや研究成果を実践に活かし、住民一人ひとりがスポーツの恩恵を享受できる社会を築くことが可能となる。

### 3) 教育課程の特徴と8つの専門分野の重要性

本学科の教育課程は、8つの専門分野を基盤としており、学生が分野を横断して学ぶことができる点が大きな特徴である。これにより、学生は深い専門知識を修得するだけでなく、幅広い視野を養い、現代社会の複雑化する課題に対応できる力を育成することができる。このような学際的なアプローチは、スポーツに関連する多様な問題を解決するための力強い基盤となる。

### 4) 卒業生のネットワークの活用と地域貢献

スポーツ文化が根付いた地域社会を実現するためには、卒業生のネットワークを活かし、大学の社会的な影響力を拡大することが不可欠である。卒業生同士がつながり、支え合うことによって、地域貢献やスポーツの発展に向けた活動が強化される。特に、卒業生が地域でのスポーツイベントや教育活動に積極的に関与することにより、スポーツ分野におけるネットワークの力を最大化し、地域全体の活性化を促進することができる。

### 5) 北海道の生涯スポーツ社会実現に向けた取り組み

教育、研究、そして卒業生のネットワークを通じて、北海道は生涯スポーツ社会の実現に向けて大きな一歩を踏み出すことができる。地域に即したスポーツプログラムの提供や、スポーツの社会的価値を高める研究成果を実践に活かすことで、住民一人ひとりがスポーツを通じて健康増進や社会貢献を実感できる社会の構築が期待される。このような取り組みにより、北海道は生涯スポーツ社会の先駆者として、全国に向けてそのモデルを発信することができる。

北海道におけるスポーツ教育と研究、地域貢献を通じて、スポーツは生涯スポーツ社会の実現に欠かせない要素となる。本学科の教育課程をはじめとする取り組みが、地域スポーツの発展や健康社会の構築に貢献することを目指し、今後も多角的な視点での活動が期待される。卒業生のネットワークを最大化し、地域との連携を強化することが、さらに地域社会を活性化させ、北海道全体のスポーツ環境の向上につながる。

## 11. アドミッション・ポリシー

### 1) 生涯スポーツ学部

本学科は、生涯スポーツ社会の実現を目指してスポーツ・健康・教育・福祉・地域づくりという視点から、人々の生き活きとした生活をサポートする人材の養成を通して地域社会の発展に貢献することを目的としています。そのためには、スポーツ、教育、健康、福祉、地域づくりの分野において実践的指導者となるような以下の資質を備えた人々を求めます。

- (1) 高等学校の教育課程を修得し、入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- (2) スポーツ・健康・教育・福祉・地域づくりの専門分野に関心があり、この分野を通して地域社会へ貢献したいという情熱を持っている。
- (3) 保健体育科教諭、アスレティックトレーナー、健康運動指導士、社会福祉士などの専門的職業人を目指している。
- (4) 知的好奇心が旺盛で何事にも主体的に行動できる。
- (5) 課題等に対して積極的に取り組もうとする意欲がある。
- (6) 他者との相互理解をはかり人間関係を円滑に保つことができる。

## 2) 生涯スポーツ学科

本学科では、以下に示す資質・能力等を身に付けた者を受け入れます。

- (1) 高等学校の教育課程を修了し、高等学校卒業に相当する学力を身に付けている。
- (2) 高等学校までの履修内容を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基礎的な内容を身に付けている。
- (3) 身近な社会問題について、自ら得た知識・情報に基づいて論理的に思考し、それを説明することができる。
- (4) スポーツ活動を通して積極的に他者とのかかわり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。
- (5) スポーツ・健康・教育・福祉・地域づくりの分野の勉学意欲が高く、その専門家として活躍することを希望している。

## 12. 北海道内においてスポーツ・健康・体育について学ぶことのできる大学

北海道教育大学、東海大学札幌キャンパス、札幌大学、札幌国際大学、星槎道都大学



2026年・春  
8つのSが動きだす

生涯スポーツ学部  
**生涯スポーツ学科**  
令和8年4月開設予定(設置届出予定)  
**Start!!!!**

すべてのひとの生涯を  
スポーツの力で  
すばらしいものに!  
そのためにここは、  
さまざまな学びの分野で  
将来の可能性を広げられる場所。  
新時代に向け  
スタートしよう!



北翔大学  
大学院 / 短期大学部

2026年・春  
8つのSが動きだす

すべてのひとの生涯を  
スポーツの力で  
すばらしいものに!  
そのためにここは、  
さまざまな学びの分野で  
将来の可能性を広げられる場所。  
新時代に向け  
スタートしよう!

**生涯スポーツ学部**

スポーツ教育学科	健康福祉学科
----------	--------

▼

**生涯スポーツ学科**  
令和8年4月開設予定(設置届出予定)

8つの分野

学校教育	アスレティック トレーニング	アスリート コーチング	スポーツ サイエンス
スポーツ マネジメント	健康ウェルネス	社会福祉	健康まちづくり

**S** 1学部・1学科・8分野で  
あらたな生涯スポーツ学部が動きだす

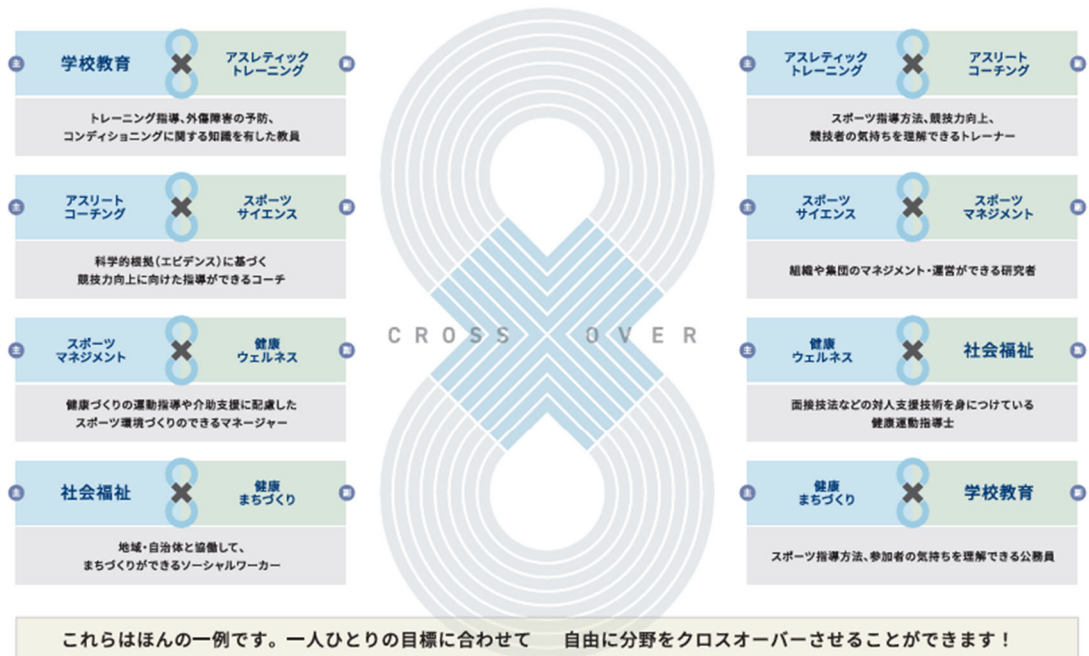
Photo: SHOOTER / SHOOTER | SHOOTER | SHOOTER

## 生涯スポーツ学科 8つの専門分野

分野名	目的	主な職種・進路	各分野の学びを活かせるライフステージ					
			乳児	幼児	児童	青年	成人	老年
学校教育	生徒の個性・可能性を伸ばすことができる保健体育科教員や特別支援学校教員を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校教員(保健体育)</li> <li>高等学校教員(保健体育)</li> <li>特別支援学校教員(中等部・高等部、保健体育)</li> <li>大学院進学(保健体育専攻免許状)</li> </ul>						
アスレティックトレーニング	スポーツ医学のデータを活用しながらコンディショニングを提案・指導できる人材を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロ・クラブチーム選手のトレーナー</li> <li>メディカルフィットネス</li> <li>高級スポーツクラブ</li> <li>都道府県スポーツ協会</li> <li>医学スポーツセンター</li> </ul>						
アスリートコーチング	高度な専門知識や技術を修得し、パフォーマンス発揮ができるアスリート・指導者・コーチを養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロ・クラブチームの選手やコーチ</li> <li>地域スポーツ指導者</li> <li>パラスポーツ指導者</li> <li>ジュニアスポーツ指導者</li> <li>幼児体育指導者</li> </ul>						
スポーツサイエンス	スポーツ現場などで効果的な指導とサポートを提供し、リーダーシップを発揮できる人材を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学院進学</li> <li>研究者</li> <li>医学スポーツセンター</li> <li>アナリスト</li> </ul>						
スポーツマネジメント	専門的なマネジメント理論を学び、より実践的なマネジメント能力を有した人材を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツビジネス・イベント企画</li> <li>スポーツクラブ運営</li> <li>総合型スポーツクラブマネジャー</li> <li>スポーツビジネス総務</li> <li>スポーツマスメディア</li> </ul>						
健康ウェルネス	スポーツ、健康、福祉の力で少子高齢化が進む現代社会を活性化できる人材を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり運動指導者</li> <li>パーソナルトレーナー</li> <li>スポーツジムインストラクター</li> <li>医療機関</li> </ul>						
社会福祉	人と社会のつながりや、人と地域の幸福の実現、向上を考え、行動できる人材を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルワーカー</li> <li>社会福祉士</li> <li>公務員(児童相談所、福祉事務所)</li> <li>南苑</li> </ul>						
健康まちづくり	地域活性化や地域づくりに関する知識・実践力を身につけた様々な人材を養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>公務員・市役所</li> <li>教育委員会</li> <li>警察官・消防士</li> <li>青少年教育施設</li> </ul>						

## 生涯スポーツ学科 分野のクロスオーバー

(主分野) × (副分野) = もっと自分らしく、将来の可能性を広げる学びを実現!



## 生涯スポーツ学科 8つの宣誓

新学科のスタートに際し、学生とともに実現したい8つのビジョン。  
あなたはどれに関心があるだろう。

### 毎日を「スポーツの日」に！

子どもからお年寄りまで、  
ライフステージを通じて  
みんなの毎日にスポーツの力を！

### 興味のある学びにダイレクト！

1年次から自分に合った学びを選ぶ。  
分野をクロスオーバーさせることで  
将来の可能性を広げることも！

### 一人ひとりを輝かせる先生を！

子どもたちの心身の健康のために  
親身に向きあい、一人ひとりを輝かせる  
保健体育教員とともにめざそう！

### “クラブ活動”の時代が求める人材を！

部活動は学校から地域クラブへと移行中。  
学外で生徒たちの技術向上に貢献できる  
各種競技のプロ指導者を育成！

### 本気の勝負に挑む心身を支える！

科学的知識と理論に基づき、  
あらゆるアスリートの挑戦を  
多様な側面から支えるプロフェッショナルへ！

### 「する」「みる」「ささえる」の場を創る！

「する」「みる」だけではなく、  
「ささえる」ことも大切。体を動かす場、  
心を動かす場をマネジメントしよう！

### 福祉の力をスポーツに活かす！

子どもからお年寄り、障がいのある人も、  
その人にあった運動が心身に健康をもたらす。  
福祉の力をスポーツに活かせる人へ！

### そして、北海道をスポーツで元気に！

四季があり広大な北海道は、あらゆるスポーツと  
相性がいいフィールド。多様なかたちでコミットし、  
北海道をスポーツで盛り上げよう！

## 生涯スポーツ学科 ∞をめざす場！



スポーツの語源は、  
ある物を別の場所に移すことを意味するラテン語  
「deportare」であると言われています。  
そこから、心の状態を移すこと、  
つまり気分転換や元気の回復を指すようになり、  
その手段としての運動をスポーツと呼ぶようになりました。  
各種競技の真剣勝負から、  
心身の健康の維持・増進に関わることまで、  
スポーツという言葉にはとても  
幅広い意味合いが含まれているのです。

少子化や高齢化など、  
さまざまな社会課題に直面しているいま、  
この「スポーツ」の価値を無限大に活用できる  
人材が求められています。

新しく誕生する生涯スポーツ学科では、  
「スポーツ」全般について、  
8つの専門分野が連携し探究していきます。  
子どもからお年寄りまで、  
だれもが自分らしくイキイキと過ごすために、  
さまざまなアプローチでコミットできる力を。  
あなたがあなたらしく活躍するための力を。  
あなたが秘めている無限大∞のポテンシャルを  
めいっぱい引き出すため、  
教職員がひとつのチームとなって学びをサポートします。

2026年4月スタート。  
まずはオープンキャンパスで会いましょう！

OPEN CAMPUS 2025

5/17<sup>①</sup> 6/22<sup>②</sup> 7/27<sup>③</sup>  
9/27<sup>④</sup> 12/7<sup>⑤</sup> 3/14<sup>⑥</sup>



資料 20：採用意向調査 北翔大学生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科（仮称）に関するアンケート【企業対象】結果報告書

1. 調査概要

1) 調査目的

令和8年4月開設予定の北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」（仮称）の設置構想に関して、企業からの採用ニーズを把握する。

2) 調査概要

		企業対象調査
調査対象		本学科卒業生の就職先として想定される企業の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、宮城県、福島県、東京都、神奈川県、富山県、長野県、静岡県、愛知県、兵庫県、鳥取県
調査方法		郵送による依頼後 Web アンケートにて回答
調査対象数	依頼数	241 社
	回収数（回収率）	54 社（22.4%）
調査時期		2025年3月24日（月）～2025年4月10日（木）

3) 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事採用への関与度</li> <li>・ 本社所在地</li> <li>・ 業種</li> <li>・ 正規社員の従業員数</li> <li>・ 正規社員の平均採用人数</li> <li>・ 本年度の採用予定数</li> <li>・ 採用したい学問分野</li> <li>・ 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する魅力度</li> <li>・ 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の社会的必要性</li> <li>・ 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」卒業生に対する採用意向</li> <li>・ 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数</li> </ul>

## 2. 回答企業（回答者）の属性、採用状況等

### 1) 回答企業（回答者）の属性

本調査は、北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」（仮称）に対する人材需要を確認するための調査として設計。北翔大学の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、54企業等から回答を得た。

**表1 人事採用への関与度**

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。（リストから1つ選択）

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	採用の決裁権があり、 選考にかかわっている	採用の決裁権はないが、 選考にかかわっている	採用には直接かかわらず、 情報や意見を収集・提供する立場にある	無回答
全体	54	13.0 7	72.2 39	11.1 6	3.7 2

**表2 本社の所在地**

Q2. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。（リストから1つ選択）

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	北海道	青森県	宮城県	東京都	静岡県	愛知県	無回答
全体	54	77.7 42	1.9 1	1.9 1	7.4 4	1.9 1	5.5 3	3.7 2

**表3 業種**

Q3. 貴社・貴団体の業種をお教えてください。(リストから1つ選択)

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	サービス業	医療・福祉	卸売・小売業	教育・学習支援	金融・保険業	警備業	建設業
全体	54	3.7 2	13.0 7	25.9 14	3.7 2	5.5 3	3.7 2	5.5 3

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	公務	自動車販売修理業	設備メンテナンス業	電気・ガス・熱供給・水道業	不動産・物品賃貸業	複合サービス業	無回答
全体	54	11.1 6	1.9 1	1.9 1	1.9 1	7.4 4	7.4 4	7.4 4

**表4 正規社員の従業員数**

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)をお教えてください。(リストから1つ選択)

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	50名未満	50名～ 100名未満	100名～ 500名未満	500名～ 1,000名未満	1,000名～ 5,000名未満	5,000名以上	無回答
全体	54	22.2 12	11.1 6	37.0 20	9.3 5	16.7 9	0 0	3.7 2

**表5 正規社員数の平均採用人数**

Q5. 貴社・貴団体の過去3年間における、平均的な正規社員の採用数をお教えてください。  
(リストから1つ選択)

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	0名	1名 ～ 5名 未満	5名 ～ 10名 未満	10名 ～ 20名 未満	20名 ～ 30名 未満	30名 ～ 50名 未満	50名 ～ 100名 未満	100名 以上	無回答
全体	54	0 0	29.6 16	22.2 12	14.8 8	11.1 6	13.0 7	1.9 1	1.9 1	5.5 3

**表6 令和7年度の採用数(採用予定数)**

Q6. 貴社・貴団体における令和7年度(2025年度入社者)の採用数を、前年度と比較してお教えてください。(リストから1つ選択)

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	増やす (増やした)	減らす (減らした)	前年度並み	未定	無回答
全体	54	31.5 17	18.5 10	40.7 22	5.6 3	3.7 2

### 3. 採用したい学問分野

表7 採用したい学問分野

Q7. 貴社・貴団体では今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えかをお教えてください。(あてはまるものすべて選択)

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	生活科学 (衣・住生活学、食生活学など)	人間医工学(生体医学、リハビリテーション科学など)	健康・スポーツ科学 (身体教育学、スポーツ科学、応用健康科学など)	基礎医学 (生理学一般、体力医学、栄養生理学など)	社会医学 (疫学・予防医学、衛生学・公衆衛生学など)
全体	54	44.4 24	27.8 15	46.3 25	20.4 11	24.1 13

※上段%は、実数に対する割合

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	教育学(教育学、教育社会学、教科教育学、特別支援教育)	社会科学 (法学、政治学、経営学、心理学など)	社会学(社会学、社会福祉学)	その他	無回答
全体	54	46.3 25	59.3 32	44.4 24	13.0 7	3.7 2

※上段%は、実数に対する割合

#### 4. 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する魅力度

表8 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の特色に対する魅力度

Q8～11. 「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」では、8つの専門分野（※）での学びを各ライフステージで活かすことができる人材の養成を目指します。次の4つの設問について、あてはまるものを1つずつ選択してください。

特色A 人々の各ライフステージに寄与できる8つの専門分野

〈専門分野〉

- ① 学校教育 ②アスレティックトレーニング ③アスリートコーチング  
④スポーツサイエンス ⑤スポーツマネジメント ⑥健康ウェルネス  
⑦社会福祉 ⑧健康まちづくり

特色B 学生一人ひとりの目標に合わせ、8つの専門分野をクロスオーバーさせて学ぶことのできるカリキュラム

特色C 充実した施設や設備をもとに実践を通して知識や技術を修得できる課題解決型授業や、どの分野の人材にも必要な基礎学力および応用力を養成する全学共通科目や、総合大学の特色を生かした学部横断の学びや研究

特色D 多様なバックグラウンドを持ち、先端の研究分野を担う教員陣により提供される、論理的思考力と技術の両方を身に付けられる教育研究環境

上段：％ 下段：件数 (企業)	標本数	魅力度 (※)	とても 魅力を感じ る	ある程度 魅力を感じ る	あまり 魅力を感じ ない	まったく 魅力を感じ ない	無回答
特色A	54	94.4 51	40.7 22	53.7 29	1.9 1	0 0	3.7 2
特色B	54	90.7 49	42.6 23	48.1 26	5.6 3	0 0	3.7 2
特色C	54	90.7 49	50.0 27	40.7 22	5.6 3	0 0	3.7 2
特色D	54	90.7 49	48.1 26	42.6 23	1.9 1	1.9 1	5.6 3

※上段％は、実数に対する割合

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに％を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値が必ずしも一致しない。

5. 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の社会的必要性／採用意向／採用想定人数

表9 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」の社会的必要性

Q12. 貴社・貴団体（ご回答者）は、北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（どちらか選択）

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	必要だと思 う	必要だとは思 わない	無回答
全体	54	92.6 50	1.9 1	5.5 3

表10 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」卒業生に対する採用意向

Q13. 貴社・貴団体（ご回答者）では、北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」を卒業した学生を、今後採用したいと思えますか。（どちらか選択）

上段：% 下段：件数 (企業)	標本数	採用したいと思 う	採用したいとは思 わない	無回答
全体	54	87.0 47	7.4 4	5.6 3



「採用したいと思う」と答えた47企業のみ抽出

表11 北翔大学「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q14. 1つ前の質問で「採用したい」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科」を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（1つ選択）  
※ご回答によって、実際の採用人数をお約束いただくものではありません

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	無回 答	毎年の採用 想定人数を 示した企業 数・計および 採用想定人 数・計（※）
全体	%	53.2	21.3	12.8	0	2.1	8.5	2.1	
	企業数	25	10	6	0	1	4	1	47
	名	25	20	18	0	5	40	0	108

※%の分母は、「生涯スポーツ学部生涯スポーツ学科」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（47企業）

※毎年の採用想定人数・計「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名を代入し合計値を算出

## 採用意向調査 北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科（仮称、設置届出予定）」に関するアンケート

貴社・貴団体に関することをはじめ、令和8年（2026年）に新設予定の「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科（仮称、設置届出予定）」について、以下のアンケートにご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

【回答期限】

令和7年4月10日（木）

### 貴社・貴団体について



貴社・貴団体につきまして、次の7つの設問にご回答ください。

1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。（1つ選択）

- 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- 採用には直接かわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

2. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。（リストから1つ選択）

※海外の場合は「その他」を選択して国名をご入力ください

答えの選択



3. 貴社・貴団体の業種をお教えてください。（リストから1つ選択）

- 通信業

- 情報サービス業
- インターネット付随サービス業
- 建設業
- 製造業
- 卸売・小売業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 運輸・郵便業
- 金融・保険業
- 不動産・物品賃貸業
- 飲食・宿泊サービス業
- 農・林・漁・鉱業
- 教育・学習支援
- 医療・福祉
- 複合サービス業
- 公務
- その他

4. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）をお教えてください。（リストから1つ選択）

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満

- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

5. 貴社・貴団体の過去3年間における、平均的な正規社員の採用数をお教えてください。  
(リストから1つ選択)

- 0名
- 1名～5名未満
- 5名～10名未満
- 10名～20名未満
- 20名～30名未満
- 30名～50名未満
- 50名～100名未満
- 100名以上

6. 貴社・貴団体における令和7年度（2025年度入社者）の採用数を、前年度と比較してお教えてください。（1つ選択）

- 増やす（増やした）
- 減らす（減らした）
- 前年度並み
- 未定

7. 貴社・貴団体では今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えかをお教えてください。（あてはまるものすべて選択）

- 生活科学（衣・住生活学、食生活学 など）
- 人間医工学（生体医工学、リハビリテーション科学 など）
- 健康・スポーツ科学（身体教育学、スポーツ科学、応用健康科学 など）
- 基礎医学（生理学一般、体力医学、栄養生理学 など）
- 社会医学（疫学・予防医学、衛生学・公衆衛生学 など）
- 教育学（教育学、教育社会学、教科教育学、特別支援教育）
- 社会科学（法学、政治学、経営学、心理学 など）
- 社会学（社会学、社会福祉学）
- その他

8. 人々の各ライフステージに寄与できる8つの専門分野（※）

※専門分野

- ①学校教育 ②アスレティックトレーニング ③アスリートコーチング ④スポーツサイエンス  
⑤スポーツマネジメント ⑥健康ウェルネス ⑦社会福祉 ⑧健康まちづくり

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

9. 学生一人ひとりの目標に合わせ、8つの専門分野をクロスオーバーさせて学ぶことのできるカリキュラム

（例）スポーツマネジメント×健康ウェルネス

→健康づくりの運動指導や介助支援に配慮したスポーツ環境づくりのできるマネージャー

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

10. 充実した施設や設備をもとに実践を通して知識や技術を修得できる課題解決型授業や、どの分野の人材にも必要な基礎学力および応用力を養成する全学共通科目や、総合大学の特色を生かした学部横断の学びや研究

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

11. 多様なバックグラウンドを持ち、先端の研究分野を担う教員陣により提供される、論理的思考力と技術の両方を身に付けられる教育研究環境


- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

12. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。（1つ選択）

- 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている


採用には直接かわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

13. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。（リストから1つ選択）

※海外の場合は「その他」を選択して国名をご入力ください 

答えの選択



14. 貴社・貴団体の業種をお教えてください。（リストから1つ選択） 

通信業

情報サービス業

インターネット附随サービス業

建設業

製造業

卸売・小売業

電気・ガス・熱供給・水道業

運輸・郵便業

金融・保険業

不動産・物品賃貸業

飲食・宿泊サービス業

農・林・漁・鉱業

教育・学習支援

医療・福祉

複合サービス業

公務

その他

15. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）をお教えてください。（リストから1つ選択）

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

16. 貴社・貴団体の過去3年間における、平均的な正規社員の採用数をお教えてください。（リストから1つ選択）

- 0名
- 1名～5名未満
- 5名～10名未満
- 10名～20名未満
- 20名～30名未満
- 30名～50名未満
- 50名～100名未満
  
- 100名以上

17. 貴社・貴団体における令和7年度（2025年度入社者）の採用数を、前年度と比較してお教えてください。（1つ選択）

- 増やす（増やした）
- 減らす（減らした）
- 前年度並み
- 未定

18. 貴社・貴団体では今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えかをお教えてください。(あてはまるものすべて選択)

- 生活科学 (衣・住生活学、食生活学 など)
- 人間医工学 (生体医工学、リハビリテーション科学 など)
- 健康・スポーツ科学 (身体教育学、スポーツ科学、応用健康科学 など)
- 基礎医学 (生理学一般、体力医学、栄養生理学 など)
- 社会医学 (疫学・予防医学、衛生学・公衆衛生学 など)
- 教育学 (教育学、教育社会学、教科教育学、特別支援教育)
- 社会科学 (法学、政治学、経営学、心理学 など)
- 社会学 (社会学、社会福祉学)
- その他

19. 人々の各ライフステージに寄与できる8つの専門分野 (※)

※専門分野

①学校教育 ②アスレティックトレーニング ③アスリートコーチング ④スポーツサイエンス

⑤スポーツマネジメント ⑥健康ウェルネス ⑦社会福祉 ⑧健康まちづくり

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

20. 学生一人ひとりの目標に合わせ、8つの専門分野をクロスオーバーさせて学ぶことのできるカリキュラム

(例) スポーツマネジメント×健康ウェルネス

→健康づくりの運動指導や介助支援に配慮したスポーツ環境づくりのできるマネージャー



- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

21. 充実した施設や設備をもとに実践を通して知識や技術を修得できる課題解決型授業や、どの分野の人材にも必要な基礎学力および応用力を養成する全学共通科目や、総合大学の特色を生かした学部横断の学びや研究

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

22. 多様なバックグラウンドを持ち、先端の研究分野を担う教員陣により提供される、論理的思考力と技術の両方を身に付けられる教育研究環境

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

23. 貴社・貴団体（ご回答者）は、北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科」は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。（どちらか選択）

必要だと思う

必要だとは思わない

24. 貴社・貴団体（ご回答者）では、北翔大学「生涯スポーツ学部 生涯スポーツ学科」を卒業した学生を、今後採用したいと思いませんか。（どちらか選択）

採用したいと思う

採用したいとは思わない